

## イラン、米に 20 億ドル求め訴訟

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 17:09)

© AP Photo/ Presidency Office <http://bit.ly/lmECGr3>

アメリカにある、凍結されたイランの資産 20 億ドルの返還を求め、イランはアメリカを国際司法裁判所（I C C）に提訴したと、イランのロウハニ大統領が 15 日述べた。ロイターが報じた。

アメリカの連邦最高裁判所はことし 4 月、イランによるものと非難されている、1983 年ベイルートでの爆発事件及びその他のテロ事件で犠牲になった米海兵隊兵士の家族にこの資産は渡されるべきものとした。20 億ドル要求の他に、イラン政府は、アメリカによる反イラン的行動への非難、ないし損害補償を求めると、ロウハニ大統領が伝えた。2012 年、米議会は、凍結されたイランの資産をベイルートでのテロに際し死亡した兵士の家族に渡すように、Citibank に義務付ける法律を採択したが、イラン政府は一度ならず攻撃への関与を否定していた。

<http://bit.ly/1ZV2jSn>

## スイス、E U加盟を思いとどまる

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 17:58)

© 写真: Collage <http://bit.ly/28IT1yU>

スイス議会上院は、1992 年に出されたヨーロッパ連合（E U）加盟申請の取りやめに賛成したと、スイスのドイツ語新聞「ノイエ・チュルヒャー・ツァイトゥング」が伝えた。

E U加盟反対に投票したのは 27 議員、申請保存に賛成したのは 13 議員だったと伝えられている。2015 年の国民投票で、スイスの国民が E U加盟に反対し、加盟申請は効力をすでに失っているため、今回の決定は象徴的な力を持つに過ぎないと新聞社は指摘している。前に、国境の不十分な守りと移民を理由に、スイスはシェンゲン協定離脱の可能性について検討していた。

<http://bit.ly/2614QSb>

## 世界の原油価格、2017 年半ばに均衡に

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 17:53)

© Sputnik/ Sergey Pyatakov <http://bit.ly/1Y22s5y>

世界の原油価格は 2017 年半ばに均衡に至る可能性があると、ロシアエネルギー省大臣アレクサンドル・ノヴァク氏は述べ、ツイッターの公式アカウントにノヴァク露エネルギー省大臣のこのよう

な言葉が引用された。

「均衡の基本的な要因は、投資の減少だ。2017 年半ばにはもう、原油価格は安定した均衡に至る可能性がある。」

現在、原油は未だ供給過剰で、一日 150 万バレルほどの生産と見積もられているとし、ノヴァク氏はこう語った。

「カナダやナイジェリアなどの国の状況のため、短い期間、需給バランスが実質的な均衡に至っている。しかし、これは非常事態による影響だ。」

<http://bit.ly/1WPLjyR>

### **サルコジ氏「真の友ロシアは、うまくいっていない時に訪れる」**

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 18:27)

◦ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1UC5utS>

ヨーロッパとロシアの関係は、あるべきものになっていないと、フランス元大統領ニコライ・サルコジ氏が、ペテルブルグ経済フォーラムで述べたと、ロシア「ガゼータ」紙特派員が伝えた。サルコジ氏によると、すべてがうまく行っている時は、「偽者の友達が現れ、あなたのもとにやってくる」とし、また、こう指摘した。「しかし、うまくいっていない時にこそ、本物の友人が訪れる。」

また、サルコジ氏はこう強調した。

「手に手をとって働かないといけない。新たな冷戦を私は望まず、冷戦が起こらないように私は戦う。冷戦は、ヨーロッパの得にならず、そしてあなた方ロシアの利益にもならない。」

フォーラムには、他にも欧州委員長ジャン＝クロード・ユンケル氏や、潘基文・国連事務総長、また、イタリア首相マッテオ・レンツィ氏が海外から出席した。

<http://bit.ly/21pyqdd>

### **CIA局長、9月11日のテロ「サウジの影」説にコメント**

(スプートニク 2016 年 06 月 16 日 19:34)

◦ AFP 2016/ Jim Watson <http://bit.ly/1UC4JkE>

9月11日アメリカで起きた、同時多発テロに関する捜査報告書の秘密部分には、事件へのサウジ

アラビア政府関与の直接的な証拠はないと、CIA局長ジョン・ブレナン氏はドバイのアル＝アラビーヤ放送局のインタビューで、こう語った。

「9.11 テロのあと、調査委員会はサウジアラビア政府関与を示す証拠を全て念入りに調べたが、サウジアラビアが国家権力機関として、また、高位の人物が個人的に、9月11日のテロ事件を支援したことを示す、いかなる証拠も存在しないと結論付けられた。」

ブレナン氏は、まもなく報告書の28ページ目が公開されると述べた。

<http://bit.ly/1YvnmfM>

## ロシア人さん、いらっしゃい！アジア各国の観光各社が超快適条件でウェルカム

(スポーツニク 2016年06月16日 19:34 リュドミラ・サーキャン)

© REUTERS/ Thomas Peter <http://bit.ly/24UwmpS>

極東の市民たちはルーブル下落のショックを乗り越え、すでに習慣となったアジア太平洋諸国への観光旅行を再開しつつある。これはある意味では理解できる。なぜならモスクワ観光もサンクトペテルブルグ巡りも黒海沿岸をまわるクルージングも極東からしてみればあまりに遠く、近隣諸国に行くよりずっと高くつくからだ。外国の観光会社、航空会社各社は極東市民をあの手この手で自国のツアーにカムバックさせようとしている。

そんななかの1社、JALも前代未聞のオファーを展開。この夏、ウラジオストクないしはハバロフスク発東京行きチケットを買った観光客には、東京から大阪、名古屋、福岡、札幌、沖縄に無料で飛ぶことのできる特別タリフが提供された。東京から先の観光地までのチケット代がただになることで、例えば沖縄までの往復チケットは300ドルから800ドルという破格になる。この他にも日本の30都市へのチケットがものすごくお得な値段でオファーされた。

観光大手のH.I.S.は個人旅行者向けにサイト上で自分で観光ルートを選択し、日本の国内線のチケットやホテルの予約ができるシステムを提案。これだと例えば東京から沖縄にANAで飛んだ場合、ホテルに2泊しても100ドルちょっとしかかからない。この他にもびっくりするようなお得な提案が目白押しだ。

日本政府観光局(JNTO)海外プロモーション部ロシア担当のヴァレンチン・シェスタク氏は次のように語っている。

「2015年、ロシアからの日本へのパックツアーは15%落ち込んだにもかかわらず、現在それは徐々に回復してきている。今年に入って最初の4ヵ月間だけで日本へのロシア人渡航者の数は1万7,200人に達した。これは日本への流れは拡大するだろうと予想する十分な根拠となっている。日本の航空各社、ツアーオペレーターらはこのために多くの尽力を尽くし、一番魅力

的なプログラムを開発してくれている。」

日本がロシア人観光客の拡大に関心を示していることは5月末、ウラジオストクで開催された太平洋国際観光展（P I T E）に出展した日本の観光会社の数を見てもわかる。前回の開催に比べ、以前は影の薄かった日本の県からの出展が目立って増えた。興味深いことに、マスコミがロシア大統領の東京訪問について報道しはじめたとたんに観光展への出展者の数がいきなり増えた。これは実業界が政界の雰囲気ホットになったことに瞬間的に反応したからに他ならない。

それでもロシア人観光客獲得にしのぎを削る日本の観光各社には強力なライバルが存在する。中国、ベトナム、フィリピン、マレーシア、マカオ、グアム、豪州、ニュージーランドといった地域諸国だ。この圏内での格安ツアーにはクルージングも切り込んできた。

「ブリーズライン」社のベンヤミン・サポジニコフ代表は「クルーズといえば常に高くつき、あまりに豪華というステレオタイプは過去のものになりつつある」として、次のように語っている。

「今の、この経済危機の時代にクルージングが一番お得なバカンスとなっていることは、かなり懐疑的な人でも認めざるを得ない。クルージングだと他の都市、他の国へと移る移動費や食費、ホテル代、娯楽費が節約できるからだ。ヨーロッパ向けのクルージングは安売りではわずか400ユーロで買えるし、アジア向けルートだと300ドルからある。」

ロシア人旅行客のインバウンドに従事する外国の観光各社には実はもっと強力なライバルがある。それはロシアの国内観光だ。ロシアの国内観光はここ数年、ずっとパワフルになってきている。自然、気候条件に富み、多様な文化遺産を誇るロシアの国内観光は将来性が非常に高い。ただしロシア国内観光を競争力の高いものにするためには一層のプライスカットや、外国より快適な条件作りに取り組む必要がある。

<http://bit.ly/1rsTEKX>

## ドイツ人の10人に1人が「総統」による国の統治を望んでいる

(スプートニク 2016年06月16日 22:06)

◎ REUTERS/ Hannibal Hanschke <http://bit.ly/1S84FHB>

ライプツィヒ大学が実施した世論調査の結果、ドイツ市民の10人に1人が、「総統」による国の統治を望んでいることが分かった。デイリー・メール紙が伝えた。世論調査は、ドイツ市民の一部が国の状況に不満を持ち、「強い意志を持った」リーダーを必要としていることを明らかにした。

世論調査ではドイツ人2,240人のうち約34%が、ドイツは「危険なほど外国人であふれかえっている」と考え、11%が、社会におけるユダヤ人の影響力があまりにも大きいとの考えを表した。またドイツ人の10人に4人が、イスラム教徒のドイツへの移住を禁止する必要があると答え、回答者

の半数が、祖国で自分のことを「外国人だ」と感じていることを認めた。

さらにドイツ人の12%が、本質的に自分たちの人種が他の人種よりも「優れている」と考えていることが分かった。デイリー・メール紙は、これはナチスドイツのイデオロギーの中心的要素だったと指摘している。また世論調査は、ジプシーや同性愛者などへのネガティブな感情が高まっていることも示した。

<http://bit.ly/1YvWtrV>

### 露下院議長と日本の首相は何を話したか？

(スプートニク 2016年06月16日 20:51)

◎ 写真: State Duma <http://bit.ly/1UzaCTC>

ロシア議会下院(国家会議)のセルゲイ・ナルィシキン議長と日本の安倍晋三総理大臣が会談し、ロシアと日本双方が関心を持つ一連の問題が審議された。ナルィシキン議長は安部首相との会見の後こう述べた。

「我々は両国そして両国民双方が関心を抱いている一連の問題について話し合った。私は会談の結果に満足している。」

さらに、2016年5月始めに行われた安倍首相のソチ実務訪問の結果と、9月にウラジオストクで行われる東方経済フォーラムへの今後の参加について、ナルィシキン議長と安倍首相は話し合った。

木曜日16日から始まった日本訪問の間、ナルィシキン議長は日本の国会指導部や日本の非政府団体「民間外交推進協会」のメンバーと会談する予定だ。また、日本の第11回ロシア文化フェスティバルのオープニング・セレモニーに参加する予定だ。

<http://bit.ly/1UcbzxC>

### 近い将来核廃絶は誰もしない

(スプートニク 2016年06月16日 21:54)

◎ 写真: Public domain <http://bit.ly/1UHgoDE>

世界の核兵器の数は減り続けているが、核兵器を保持している国で、予見される近い将来、核兵器を廃棄する用意ができていない国は一つもないと、ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)の報道担当が伝えた。

2016年始めの情報によると、米、露、英、仏、中、印、パキスタン、イスラエル、北朝鮮の9カ国で、1万5,395発の核兵器が処分され、2015年には15,850発が処分された。各兵器削減は主に、世界全体の93%の核兵器を持つアメリカとロシアによる核兵器廃棄によるものが大きいと、SIPRIの分析官は書いている。

同時に、両国による長期間の核兵器廃棄計画は、今後の核兵器システム近代化を意味すると専門家は続けている。たとえば、アメリカは2015年から2024年の期間、核戦力の維持と更新に3,580億ドル費やす計画だ。SIPRI上級研究員であり、報告書の執筆者の一人ハンス・クリステレン氏はこう書いている。

「オバマ米大統領の執行部に見られるアメリカの近代化への野心的な計画は、核兵器削減というオバマ大統領の約束とは強いコントラストを見せる。」

<http://bit.ly/1tztRTv>

### **中印の紛争がチョコのおかげで解決**

(スプートニク 2016年06月17日 01:07)

BeTa-Artworks <http://bit.ly/1STWq5e>

16日、インド・中国の国境紛争地帯でインドが実効支配しているアルナーチャル・プラデーシュ州（中国語表記では蔵南地区）で両国の軍隊の衝突が再発。中国軍は4つの地点でインド領へ侵入した。公式的な情報筋によれば、16日、インド軍は侵入を試みた中国軍を押し返し、領域を掌握した。情報筋によれば、衝突が解決されたのは中国軍の将校4人と通訳がインド軍司令部と面会し、チョコレートの入った袋を2つ渡したため。中国とインドの間では2011年から長江流域で小競り合いが始まった。

6月9日には中国軍の兵士らがインド領に3時間にわたって侵入し、インド軍の抵抗にあつて中国領に戻っている。現在インドは全力をあげて原子力供給国グループに加わろうとしており、中国はこれを依然として阻止しつづけている。

<http://bit.ly/1PxdZfb>

### **CIA長官「米露はシリアでのテロとの戦いで協力」**

(スプートニク 2016年06月17日 02:12)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://bit.ly/25zndL4>

アメリカとロシアはシリア領内でのテロとの戦いで、「お互い密に協力して合っている」と、CIA長官ジョン・ブレナン氏が伝え、米上院委員会の公聴会でこう語った。

「紛争解決の件に関して私たちはロシアと協力しており、テロとの戦いのため何が出来るかを決めようと試みている。」

2001年3月からシリアでは武力抗争が続いていて、その結果、国連のデータによれば、22万以上の人が亡くなった。政府軍は、様々な武装集団に属する戦闘員と対立している。最も活発的なテロ集団は、「ダーイシュ（IS、イスラム国）」と、「アル=ヌスラ戦線（「アルカイダ」のシリア支部）」だ。

<http://bit.ly/1sICM40>

### ロシアで世界最強の原子力砕氷船が進水（動画）

（スプートニク 2016年06月17日 02:50）

◎ 写真: Press service of the company "Baltic Shipyard" <http://bit.ly/10ttmn9>

世界で最も強力な砕氷船「アルクチカ」が、サンクトペテルブルグのバルト工場に進水した。「スプートニク」の記者が現地から伝えた。砕氷船「アルクチカ」は、2013年11月に起工された。全長は173.3m、幅34m、排水量3万3,500トン、乗員は75人。最終的な引き渡し期限は、2017年12月。「アルクチカ」は、北極海航路の維持や北極への様々な遠征の実施を目的としたロシアのプロジェクト22220の一部。砕氷船は、北極で厚さ最大3メートルの氷を割りながら船団を伴走する。「アルクチカ」は、プロジェクト22220の中心的な船となり、北極開発と北極圏におけるロシアのプレゼンス強化に必要な原子力砕氷船団の基盤となる。

動画 <http://bit.ly/1XsJMPc>

<http://bit.ly/1UfqeWd>

### 米国は中国を抑え込むためにロシアとの関係を確立しなければならなくなるだろう

（スプートニク 2016年06月17日 11:20）

◎ AP Photo/ Ng Han Guan <http://bit.ly/1XD2HV1>

米国は、アジア太平洋地域における中国の野心を抑え込むために、ロシアとの関係を確立しなければならなくなるだろう。ワシントン・タイムズが伝えた。ワシントン・タイムズによると、西側との関係悪化は、ロシアを中国との関係強化に向かわせた。中国とロシアの新たな軸となっているのは主に経済協力だが、対ロシア制裁が延長された場合、この軸がさらに何か大きなものになる可能



性があるという。また中国はロシアのサポートを受けて自国のアジア計画をさらに積極的に遂行し続ける可能性がある。これは南シナ海における中国の行動が示している。

これを受けてワシントン・タイムズは、米国政府にロシアとの関係を見直すようアドバイスしている。そうなれば、米国はたとえロシアが対中同盟に積極的に参加しなかったとしても、地域で落ち着いていられるという。またワシントン・タイムズは、ロシアが同地域で独立した平和維持の役割を務めるようになり、南シナ海に関する紛争解決や、北朝鮮の核プログラムに関する国際協議にも貢献することができると考えている。

ワシントン・タイムズは、制裁はロシアにウクライナに関する自国の立場を変えさせるために発動されたが、その目的達成に役立たなかったと指摘し、ロシアにとっても米国にとっても現在の状況は有益なものではないが、米国はこれをまだ完全には理解していないと締めくくっている。

<http://bit.ly/1UC8F50>

### **超高速列車ハイパーループが露中をつなげる可能性**

(スプートニク 2016年06月17日 19:54)

◎ 写真: Hyperloop Transportation Technologies <http://bit.ly/1QckAdy>

ロシア初の超高速交通システムハイパーループが、中国からザルビノ港までの区間に現れる可能性がある。値段は300から400億ルーブルだ。ロシア連邦運輸省のマクシム・ソコロフ大臣が記者団に語った。2012年ハイパーループの構想を出したのは、エンジニアで起業家、投資家のイーロン・マスク氏だ。新しい交通手段ハイパーループは飛行機の2倍早く、新幹線の3~4倍早い。さらに、列車は安全で、太陽光エネルギーで稼動する。ソコロフ氏は、ペテルブルグ国際経済フォーラムのロビーでこう語った。

「今日、イーロン・マスク氏が後援している会社の指導部と私たちは、この問題について審議した。ハイパーループは鉄道よりも安くなると、つまり、70<sup>キロ</sup>の距離ならば、300~400億ルーブルの範囲に収まると言えると、彼らは断言した。」

<http://bit.ly/10uRCoZ>

### **米、シリアで露飛行機撃墜の権利求む**

(スプートニク 2016年06月17日 12:54)

◎ Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://bit.ly/1QLkN6d>

アメリカ空軍は、シリアでの飛行禁止区域確保の準備ができているが、そのためにはシリア上空



を飛んでいるロシアの飛行機を打ち落とす権利を手に入れなければならないと、アメリカのデービッド・ゴールドフェイン副参謀総長（空軍大将）は声明した。ゴールドフェイン氏は、飛行禁止区域導入のためには3つの条件が必要だと言い、1つ目の条件として、違反する飛行機全てを撃墜する許可を挙げ、こう述べた。

「「ダーイシュ（IS、イスラム国）」が飛行機を持たない以上、私に必要なのはロシアとシリアの飛行機を打ち落とす許可だ。」

2つ目の条件として、難民帰還の課題解決と、難民への人道的援助提供のためには、「地上で」状況をコントロールする「地元の勢力」が必要だとした。また、ゴールドフェイン氏によると、飛行禁止区域と対テロ作戦の間でどう空軍の勢力を割り当てるかを、正しく理解する必要がある。

<http://bit.ly/24WCLpf>

## 日本の露文化フェスに 120 万人集まる可能性

(スポーツニク 2016年06月17日 18:53)

◎ Sputnik/ Maksim Bogodvid <http://bit.ly/1UTpJWC>

日本で開催される第11回ロシア文化フェスティバルでは今年、約40の催しが開かれ、また120万人の集客が見込まれると、ロシア文化フェスティバル日本組織委員会事務局長の長塚英雄氏がSputnikに伝えた。

ロシア文化フェスティバルは2006年から行われており、この間の来客数は1,300万人以上だ。今年のフェスティバルでは、ロシア芸術の最も多種多様な面とジャンルが日本で上演される。2つのサーカス団による公演、ロシアブリヤート共和国「ナムガル」サーカス団による客演公演などだ。また、観客はロシアのオーケストラの演奏するクラシック音楽を堪能することができる。そして年末にはミハイロフスキー劇場のバレエ団の客演公演が行われる。

国立モスクワ音楽段室内合唱団のコンサートには日本全国から集まった25人のロシア民謡声楽家が参加し、露和合同プロジェクト「陰陽師」が演じられ、プログラムの中で最も興味深いものの一つとして中塚氏は勧めている。6月17日、第11回ロシア文化フェスティバルが東京のサントリーホールで開幕される。幕開けを飾るのはヴァイオリニストのワディム・レーピンとスヴェトラナ・ザハロワによる夢の競演「パ・ド・ドウ for Toes and Fingers」。ふたりの世界的アーティストによるこのプログラムは同時に、世界を駆け巡った第3回トランス=シベリア芸術祭の最後を飾る日本公演の一角を成すもの。

<http://bit.ly/1sKvvRr>

## プーチン大統領と安倍首相の次の会談期日・場所明らかに

(スプートニク 2016年06月17日 14:55)

© Sputnik/ Michail Klimentiev <http://bit.ly/2681JXv>

金曜日、日本訪問中のロシア議会下院・国家会議のセルゲイ・ナルィシキン議長が述べたところでは、プーチン大統領と安倍首相の次の会談は、9月初めに、極東のウラジオストクで行われる見込みだ。

ナルィシキン下院議長は、民間友好組織のメンバーと会った際「ロ日両国首脳のための会談は、ウラジオストクで9月初めに東方経済フォーラムが開かれる際、行われると期待できる」と述べた。なおプーチン大統領と安倍首相は、先月6日、黒海沿岸の保養地ソチで会談している。

<http://bit.ly/1UB1SfR>

## 米国務省職員 オバマ大統領にシリア政府軍への攻撃を要求

(スプートニク 2016年06月17日 15:07)

© AFP 2016/ Juan Mabromata <http://bit.ly/1OuRXbc>

シリアに対する様々な政策に取り組んでいる米国務省の50人を超える職員らが、ホワイトハウスの対シリア政策への不同意を表明するメッセージに署名した。新聞「The Wall Street Journal」が、国務省内の関係者から届いた情報のコピーを引用して伝えた。

それによれば、米国務省の一部の職員らは、停戦体制が近く崩壊することを背景に、シリア政府軍に対し「目標を絞った軍事攻撃」を実施するよう求めている。なお国務省は、こうしたメッセージが存在することは認めたものの、指導部がその内容を詳しく把握するまでは、コメントできないとしている。

<http://bit.ly/1UEXmsA>

## 日本 アデン湾での対海賊パトロール作戦を延長

(スプートニク 2016年06月17日 16:19)

© AFP 2016/ Roberto Schmidt <http://bit.ly/24WDTJ1>

金曜日、日本政府は、アデン湾付近に出没する海賊に対抗するためのパトロール作戦に参加する自衛隊の任務を、さらに1年延長した。ソマリア沖での自衛隊の海賊掃討活動の期間は、来月7月23日に、その期限が切れる。昨年、海賊による商船への攻撃は1件も報告されなかったにもかかわらず

らず、今回、任務延長が決まった原因は、ソマリア国内の政治的経済的状況が良くなっていないことにある。閣議では、ソマリア問題解決の道が見つからないうちは、海賊行為が再開される危険性が今も残っていると判断された。

<http://bit.ly/1UTq3ov>

### **鳩山元首相 全世界がクリミアの平和を確信するよう望む**

(スプートニク 2016年06月17日 16:36)

© Sputnik/ Artem Kreminsky <http://bit.ly/24WEDhJ>

鳩山元首相は、日本訪問中のロシア議会下院・国家会議のナルィシキン議長と会談し「昨年クリミアを訪問した際、自分は、この半島が完全に平和であると確信した。この事実が日本の世論や世界に届くことを願っている」と述べた。

元首相によれば、昨年のクリミア視察には、西側諸国の側から一部抵抗があったが、実施されたとのことだ。

鳩山元首相は、ナルィシキン下院議長との会談で、次のように強調した—

「クリミアについて言えば、私は、状況がどうなのか、自分の目で見る必要不可欠だと立場に立った。日本にもロシアにも、そうしたことわざがある。百聞は一見に如かずというものだ。私は、クリミアに行くことを決意し、現地の状況は完全に平穏であると感じた。クリミアの実際の事実に驚き、私は、それを、日本の世論や、世界中の人々に伝えたいと思った。そうした努力を今後も続けたいと考えている。」

<http://bit.ly/1WS17RI>

### **ロシア 原爆投下後、広島・長崎でソ連代表団が撮影した映画フィルムを日本に譲渡**

(スプートニク 2016年06月17日 16:59)

© AP Photo/ <http://bit.ly/1ZXbTUQ>

ロシア議会下院・国家会議のナルィシキン下院議員は、安倍首相に、米国による原爆投下の直後に広島・長崎で当時のソ連代表団が撮影した映画フィルムを手渡した。

これは日本訪問2日目、議長が、記者会見で伝えたものだ。記者団との会見で、ナルィシキン議長はまた、オバマ大統領の広島訪問時の発言について、驚きを表し、次のように述べた—

「つい先日のオバマ大統領広島訪問の際、私は 1945 年 8 月の出来事に対して、大統領が謝罪の気持ちを表すかどうかに注目していたが、日本国民の前でそれはなかった。何の罪もない何万、何十万もの人々の死をもたらした当時の軍人達の恐ろしい戦争犯罪に対し、責任のある国の指導者のそうした振舞いに、私は驚きを禁じ得ない。」

<http://bit.ly/1UgCLk2>

### **国連事務総長 ウクライナを「激怒」させた自らの発言を撤回せず**

(スプートニク 2016 年 06 月 17 日 17:25)

© AFP 2016/ United Natio / UN Photo/Loey Felipe <http://bit.ly/1OuTqhJ>

ウクライナのエリチェンコ国連大使は、平和問題調整におけるパン・ギムン国連事務総長の発言には「全く激怒した」と述べた。A P 通信が伝えた。

サンクトペテルブルグ国際経済フォーラム開会にあたって、国連のパン事務総長は「ロシアは、ウクライナ及びシリアにおける紛争停止といった問題の調整において、大きな役割を果たしている」と発言した。

これについてエリチェンコ国連大使は「ウクライナは、事務総長に対し、この発言に関する説明を要求し、抗議文を送るだろう」と伝えた。

一方、ジュジャリク国連事務総長スポークスマンは「我々は、発言を撤回するつもりはない。私は、あり得る批判に反応し、それを分析したりするつもりもない」と述べた。

先にパン・ギムン事務総長は「欧州は、正しくない方向に動いている。新たな壁を作るのではなく関係を強化する必要がある」との考えも示している。

<http://bit.ly/1UeilDc>

### **オバマ氏の演説について日本被団協「空から死が降ってきたのではなく、もたらされた」**

(スプートニク 2016 年 06 月 17 日 18:07)

© AFP 2016/ Yoshikazu Tsuno <http://bit.ly/1PyTB6y>

先日広島で行われた演説中に、アメリカのバラク・オバマ大統領が、アメリカの「責任を回避」しようとしたことに、「日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)」は怒りを覚えていると、共同通信は伝えた。

アメリカの現職大統領として広島市を訪れた、初めての大統領であるオバマ大統領は、演説をこの言葉から切り出した。

「71年前、雲のない晴れた朝、空から死が降ってきて、世界は変わった。」「あたかも自然現象のようだ」が、原爆投下機が「死をつくったのだ」と、田中熙巳事務局長（84）はこの表現を非難したと、共同通信が伝えた。また、木曜日に採択された日本被団協の2日間にわたる総会のこのような決議案を報じた。「投下に対する謝罪の証しとしても、核兵器廃絶への責任と行動を一層深く求める。」

<http://bit.ly/1rtMOQt>

### **ポーランド、国民の会話盗聴許可**

（スプートニク 2016年06月17日 18:50）

© Fotolia/ Viktor Gmyria <http://bit.ly/1UEZYXp>

ポーランド上院は、盗聴を許可する新たな反テロ法を採択した。法案採択には、55人の上院議員が賛成し、28人が反対、3人が棄権した。ポーランドの野党は、この法律は市民権を侵害しているとしている。

法律により、諜報機関の権力は大幅に拡大されると、地元メディアを引用し、リア-ノーヴォスチが伝えた。特に、会話の盗聴、施設の監視と盗聴、外国人の郵便物や手紙の3ヵ月間のチェックの可能性が法律に盛り込まれている。法律の発効には、ポーランド大統領が法律に署名する必要がある。

<http://bit.ly/1QcmsDm>

### **ナルィシキン氏「日露の協力は第三国に目を向けることなく発展するはず」**

（スプートニク 2016年06月17日 19:26）

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <http://bit.ly/1YyrhYV>

日本とロシアの協力は、第三国の意見を気にかけずに発展するはずだと今日、東京を訪問中のロシア下院議長セルゲイ・ナルィシキン氏が声明し、こう述べた。

「露日間の協力はそれ自体独立した価値を持っており、協力は我々両国の国民の利益のため発展していくと、我々は考えている。日露協力は、協力の決裂を目論んでいるかもしれないにかしらの第三国の意見を気にかけることなく発展していくに違いない」

日本は、強い経済を持った大国であり、「自らの主権を大事にし、自国民の利益に基づいて行動」しなければならないと、ナルィシキン氏は付け加える。

ナルィシキン氏はまた、日本領内へのアメリカのミサイル防衛システム配置の可能性に憂慮を示した。氏の言葉によると、システム配置は、地域の力のバランスを崩す。

<http://bit.ly/1YxFVQA>

### **アリババの創業者が自らの仕事を人生最大の失敗と呼ぶ**

(スプートニク 2016年06月17日 19:44)

© Sputnik/ Igor Russak <http://bit.ly/1QcmVW8>

中国のインターネット会社最大手のアリババの創業者、ジャック・マー氏が、ペテルブルグ国際経済フォーラム（S P I E F）での演説中に、アリババを創業したことは人生最大の失敗と考えていると述べ、こう語った。

「正直に言えば、私の人生最大の失敗は、アリババ創業だ。アリババを作ったときは、あまり大きなビジネスにはならないと考えていた。今では社長として毎日忙しい。」

また、マー氏はこう付け加えた。

「次の人生では、もし次の人生があればだが、今のようなビジネスを営むことは二度とない。自分の用事を営んで、人生を楽しむだろう。」

この際、会社のトップに長く残るつもりはなく、引退後は環境保護に従事する予定だと保証した。

<http://bit.ly/1UB5nmz>

### **プーチン大統領、日本におけるロシア文化フェスティバルの観客にご挨拶**

(スプートニク 2016年06月17日 20:34)

© Sputnik/ Mikhail Klimentiev <http://bit.ly/1QcowuQ>

プーチン大統領は今日から開幕の日本における第11回ロシア文化フェスティバルの参加者および観客に歓迎の挨拶を送った。

「ロシア文化フェスティバルの開幕に際して、皆様に心からのご挨拶をお送りいたします。日本でのフェスティバルはすでに11回目を迎えました。今年、このフェスティバルは両国の外交関係が復

活して 60 年という節目の年を記念するものとなっています。」クレムリンのサイトにはプーチン大統領が送った祝電内容が掲載された。

プーチン大統領は、2016 年、ロシアは映画年が宣言されていることから、今回のロシア文化フェスティバルのプログラムは映画に主眼をおいたものとなっていると強調している。

プーチン大統領は「フェスティバルが日本の文化生活において、輝かしく記憶に深く刻まれるイベントとなる」ことへの確信を表し、フェスティバルの成功と祝祭の忘れ難い印象を得られるよう祈念した。

<http://bit.ly/1QcnIGq>

### **元露財相「石油価格はこれ以上伸びない」**

(スプートニク 2016 年 06 月 17 日 21:56)

◎ Sputnik/ Iliya Pitalev <http://bit.ly/1Uem8jN>

石油価格は近い将来には伸びないとの予測は公平だと、2016 年ペテルブルグ国際経済フォーラムで、ロシアのアレクセイ・クドリン元財務相は述べ、こう語った。

「石油価格は現在の水準を維持するか、下落するだろう。近い 5 年で石油は 40 ドル、30 ドル、その後はさらに下がる。」

クドリン氏はさらに、現在の石油価格は現実的なものだとの見解を発表した。クドリン氏は、石油はこの先、普通の収益を上げる先普通の商品となり、今までのように超過的な収益を呼ぶものではなくなるだろうと述べ、経済のエネルギー資源への依存度を下げることに賛成を示した上で「ポスト石油生活を始めるとき」だと呼びかけた。

<http://bit.ly/1V2Vh9V>

### **プーチン大統領「世界経済の構造的問題が残っている中で成長はできない」**

(スプートニク 2016 年 06 月 18 日 00:15)

◎ Sputnik/ Mikhail Voskrsenskiy <http://bit.ly/23h2KZ2>

ロシアのプーチン大統領は、サンクトペテルブルグでの国際経済フォーラムの本会議で演説し「グローバル経済における構造的諸問題が残っている中では、今のところ成長はできないだろう」と述べた。



プーチン大統領は、次のように発言した—

「2008年から2009年にかけての危機のあと、債務増加問題を克服できなかったにもかかわらず、財政収支を部分的に切り詰め、制限し、金の流れをより透明で監督されたものにする事ができた。しかしグローバル経済に蓄積した構造的問題は、今も残っている。これでは経済を再び成長へと向けることはできないだろう。」

<http://bit.ly/1UgCSMv>

### **プーチン大統領、ユーラシア経済連合、中国などを入れた大ユーラシア・パートナーシップの創設を呼びかけ**

(スプートニク 2016年06月17日 22:18)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1UgDhP7>

ロシアとユーラシア経済連合の他の参加国は中国、インド、パキスタンなど一連の国を参加させた大ユーラシア・パートナーシップの創設に賛同している。17日、プーチン大統領はサンクトペテルブルグの国際経済フォーラムの総会で演説したなかで次のような声明を表した。

「我々がパートナーらとともに考えているのは、ユーラシア経済連合はより広範な統合の輪郭を形作る中心のひとつになりうるということだ。」

プーチン大統領はこの問題は5月末のアスタナでのユーラシア経済連合の指導者会合で話し合われたことを指摘した。

「より大きなユーラシアのパートナーシップの創設を、ユーラシア経済連合や我々とすでに緊密な関係を構築した諸国の参加のもとに行なうことを検討するよう提案する。そうした国とは中国、インド、パキスタン、イランであり、C I S諸国のパートナー国はもちろん、他にもこれに関心を抱く国や統合体も入る。」

<http://bit.ly/24WI1ch>

### **EU、クリミアへの制裁一年延長**

(スプートニク 2016年06月17日 21:43)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1W4pRF8>

欧州連合（EU）はクリミアとセヴァストポリに対する禁止措置を2017年6月23日までの12ヵ月、延長したと、欧州理事会の報道官が伝えた。ロシアへのクリミア半島の「編入の承認拒否の

戦略の一環」としてこのような決定はとられたとされ、声明ではこう述べられている。

「この対応はクリミアとセヴァストポリ領内でのみ効力を発揮し、全てのEU市民と、EUに拠点を置く会社が実行しなければならない。」

クリミア半島産のあらゆる品物のEUへの輸入、不動産取得を含む、ヨーロッパによるクリミア半島領域内へのあらゆる投資、ビジネスへの融資、サービスの提供、特に旅行会社によるサービスの禁止を制裁は含んでいる。

<http://bit.ly/1SabM1W>

## **EU、クリミアへの制裁1年延長**

(スプートニク 2016年06月17日 21:43)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://bit.ly/1W4pRF8>

欧州連合（EU）はクリミアとセヴァストポリに対する禁止措置を2017年6月23日までの12ヶ月、延長したと、欧州理事会の報道官が伝えた。ロシアへのクリミア半島の「編入の承認拒否の戦略の一環」としてこのような決定はとられたとされ、声明ではこう述べられている。

「この対応はクリミアとセヴァストポリ領内でのみ効力を発揮し、全てのEU市民と、EUに拠点を置く会社が実行しなければならない。」

クリミア半島産のあらゆる品物のEUへの輸入、不動産取得を含む、ヨーロッパによるクリミア半島領域内へのあらゆる投資、ビジネスへの融資、サービスの提供、特に旅行会社によるサービスの禁止を制裁は含んでいる。

<http://bit.ly/1SabM1W>

## **米大富豪「2019年経済破綻が米を待っている」**

(スプートニク 2016年06月18日 00:14)

© AFP 2016/ STR <http://bit.ly/1PyXDvJ>

アメリカ経済は数年後に崩壊すると、アメリカの大富豪ジム・ロジャース氏は確信している。問題は他国にも起こる。「世界は崩壊する」と、ペテルブルグ国際経済フォーラム（SPIEF）で、ロジャース氏はロシアのマスメディアに言った。アメリカの状況は毎日悪くなる一方だとし、ロジャース氏はこう述べた。

「アメリカは、今の世界だけでなく、世界史上最大の債務国だ。この債務への利子は現在人工的に低くされており、その利子は法外に低い。」

アメリカ経済の破綻は2018年～2019年に、「もしかしたら2020年、本当にまもなく」訪れると、ロジャース氏は言った。さらに、ロシア経済にはアメリカ経済よりも優れた点があるとしてロジャースさんはこう語った。

「第一に、ロシアには借金が少なく、第二に、ロシアはすでに最大の問題と突き当たった。」

<http://bit.ly/1PyYgp3>

**プーチン大統領「世界には米国のような強国が必要だが、ロシアは生き方を指示されたくはない」**  
(スプートニク 2016年06月17日 23:16)

© Sputnik/ Михаил Воскресенский <http://bit.ly/1tAUI1q>

プーチン大統領は、米国は今や唯一の超大国だとしながらも「米国は、ロシアの事に介入すべきではなく、ロシアとEUの関係に影響を与えるべきではない」とみなしている。17日、大統領は、そうした考えを、サンクトペテルブルグでの国際経済フォーラムで明らかにした。プーチン大統領は、次のように述べた—

「米国は、偉大な国だ。恐らく今日、唯一の超大国だろう。我々は、それを理解している。そして米国と共に仕事をしたいと欲しており、その用意がある。世界には、米国のような強国が必要だ。我々も、必要としている。しかしその際、絶えず我々の事に干渉したり、どう生きるべきかを指示したり、欧州との関係構築を邪魔する必要はない。」

<http://bit.ly/1tAV6x1>

**マールイ劇場ソロミン芸術監督「黒澤監督は『白痴』の映画化は失敗だったと思っていた」**  
(スプートニク 2016年06月18日 00:58 タチヤナ・フロニ)

© AFP 2016/ STF <http://bit.ly/1UgE1Un>

「『羅生門』を撮影するまで、私はずっと『白痴』をやりたいかったです。若い頃から、ロシア文学を愛していました。ドストエフスキーこそ最良だと思っていましたし、彼の原作から、素晴らしい映画を撮ることができるだろうと、長い間思っていました。ドストエフスキーはやはり今でも大好きな作家です。私の意見では、彼は唯一の、人間という存在について真実を書いた作家です。」偉大な日本人映画監督、黒澤明氏はそう語った。

世界的な巨匠である黒澤監督と、一緒に仕事をする事ができた幸せなロシア人俳優の数は、そんなに多くはない。劇場俳優であり映画俳優の、ユーリー・ソローミン氏（現・マールイ劇場芸術総監督）は、そのような幸せなロシア人俳優のうちの一人である。

**ソローミン氏：**「私はいつも喜びをもって日本のことを思い出します。そのような大事な思い出の中のひとつが、もちろん黒澤明監督との出会いです。私は『デルス・ウザーラ』で主役をさせてもらいました。黒澤監督は、第二次世界大戦が始まる前に既に監督としての仕事を始め、映画人生の第一歩として、『デルス・ウザーラ』を撮りたかったのだと私に話してくれました。実際のところ、監督は当初、主役に日本人をあてることを考えていたのですが、ある日本人プロデューサーが、私を起用するよう要求したのですよ。それは私にとっては本当にラッキーなことでした。なぜなら、全ての俳優が、天才的な巨匠である黒澤監督と出会えるわけではありませんからね。そして私にとっては、彼との出会いは更に貴重なものでした。『デルス・ウザーラ』の撮影の後、私と監督とは30年以上も、彼が亡くなるまで、ずっとずっと友情が続いたのですから。私は90年代に、マールイ劇場を率いて、初めて日本で公演をおこないました。そのとき黒澤監督は個人的に、マールイ劇場の日本公演を宣伝してくれたのです。その際、マールイ劇場の俳優とステージの写真が入った、特別アルバムを作りました。

黒澤監督はそのアルバムに、冒頭の挨拶文を書いてくれました。私にとっては、彼がロシア文学を愛し、ロシアの古典から何本かの映画を撮影したことは、とてもありがたく大切なことです。日本ではロシア文学が愛されていますし、みんなトルストイやドストエフスキーを知っています。特にチャーホフは、愛されていますね。マールイ劇場は3回、日本で公演したのですが、その3回とも、チャーホフの『桜の園』を上演しましたよ。日本の観客の皆さんが『桜の園』が見たい、また見たいとリクエストされるのです。皆さん、『桜の園』が好きなんですね。」

ソ連時代、黒澤監督の映画は非常にたくさんの人に鑑賞され、人気を博した。「デルス・ウザーラ」が公開された後、黒澤監督のもとには何回も、何かしら新しい映画をロシアで撮ってほしいというリクエストが来ていたという。ソローミン氏は、当時を次のように思い出している。

**ソローミン氏：**「私も黒澤監督に、もう一本映画を撮ってくれるよう提案しました。黒澤監督は、当時の『モスフィルム』の総裁だったニコライ・シゾフ氏を大変尊敬していました。何とんでも、シゾフ総裁が、黒澤監督が『デルス・ウザーラ』を撮ることを提案したのです。黒澤監督はすぐに賛成しました。それは彼の長い間の夢だったのですからね。その夢がかなった後、黒澤監督はエドガー・アラン・ポーの『赤き死の仮面』をロシアで撮影したいと考えていました。黒澤監督は『赤き死の仮面』の主役を私が演ずるよう誘ってくれました。音楽は、イサーク・シュワルツが作曲する予定でした。彼は『白夜の調べ』に素晴らしい音楽を提供した人です。

しかし、残念ですが、その計画は実現しませんでした。当時黒澤監督はサンクトペテルブルグに来て、私たちはこの映画についてたくさんの打ち合わせをしました。しかし、あるとき、黒澤監督は何人かのロシア人映画関係者たちから侮辱されたと感じたのです。それはどういうことかという、当時のソ連には芸術評議会というものが存在していたのですね。この評議会と、どういうアーティストを起用するかについて、お伺いをたて、意見を一致させなければならなかったのです。黒

澤監督はそのシステムに慣れていませんし、それをすることを拒否しました。でも私は、その撮影されなかった映画の脚本のロシア語版を、聖なる人の遺物のように、今でも大事に保管しているのですよ。

そのことがあっても私たちの友情は続きました。私が日本へ行ったときには必ず彼と会いました。私がマールイ劇場の芸術監督に就任した1989年、この劇場で、好きな戯曲を上演してくれるよう黒澤監督に提案しました。彼は長い間それについて考えていましたが、その提案をのみませんでした。なぜならば、彼はロシア古典文学を愛してはいましたけれども、彼が撮影したドストエフスキーの『白痴』は失敗に終わった、と考えていたのです。本当に残念でした。もし監督がOKしてくれていたら、私たちは彼の望む条件、劇場に求める条件を、全て満たす用意がありました。『白夜の調べ』で私と共演していた栗原小巻さんがその劇に出演してくれたかもしれません。

黒澤監督はそれからまもなくこの世を去ってしまいました。でも私の周りには、黒澤監督に関わる色々な物が今でも残っています。映画監督になる前、彼は芸術アカデミーを卒業しました。私の書斎には、黒澤監督がくれたサイン入りの絵が飾ってあります。彼が自分で描いた、目が輝いている虎の頭の絵です。これは『デルス・ウザーラ』の思い出の品なのです。この絵は、私の誕生日に、ロシア語で書いたお祝いメッセージと一緒にプレゼントしてもらいました。これは私にとってとても大切なものです。

その後、彼はロシアに来ることはありませんでしたが、毎年正月と、誕生日には、『黒澤画家』は新しい絵葉書を送ってくれました。そのたくさんの絵葉書は、私たちの友情の記憶として、書斎に大切にしまってあります。」

<http://bit.ly/1W4pKcU>

## 鳩山元首相、米の圧力に屈しなかった安倍氏のソチ訪問を高く評価

(スポーツニク 2016年06月17日 22:50)

◦ Sputnik/ Artem Kreminsky <http://bit.ly/1YxL0Iy>

鳩山由紀夫氏はナルィシキン露下院議長との会談で安倍首相の外交政策は支持しないものの、ソチ訪問を行ったことは高く評価した。

鳩山氏は会談後、記者団に対し、「安倍氏の外交政策には全て賛同できないものの、ソチ訪問を行い、その際にプーチン大統領との最高レベルの会談が行われたこと、また米国の強硬な反対にもかかわらず、安倍首相がロシアとの二国間関係を発展させたいという熱い希望を押し進めたことを高く評価する」と語った。

<http://bit.ly/23h3IER>

## ロシア陸上代表団、リオ五輪への出場許可下りず

(スプートニク 2016年06月18日 02:20)

© Sputnik/ С т р и н г е р <http://bit.ly/21rqYhW>

国際陸上競技連盟（IAAF）は、今年8月のリオデジャネイロ夏季五輪へのロシア選手の参加容認要請を拒否した。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1QcqJqj>

全ロシア陸上競技協会の資格剥奪は、効力を持ったままとなった。ロシア選手の五輪参加資格停止措置は、禁止薬物を使用したとの理由で下されたものだ。

17日、サンクトペテルブルグでの国際経済フォーラム出席中のプーチン大統領も、このドーピング・スキャンダルについて避けて通ることはできず、次のように強調した—

「ロシア捜査委員会と検察当局は、ドーピング・スキャンダルについて、マスコミからのものを含めて指摘された、あらゆる事実について独自の詳しい調査を行っている。ロシアは常に、ドーピング使用に反対してきたし、これからも反対するだろう。スポーツ選手としての責任は、個人のものであるべきだ。選手各人に集団責任を負わせることはできない。ドーピング違反をした選手の責任をチーム全体が負うようなことがあってはならない。」

<http://bit.ly/1rt0E93>

## プーチン大統領「露国境でのNATOの軍事力増強は世界を新たな冷戦に導く可能性」

(スプートニク 2016年06月17日 23:12)

© Sputnik/ М и х а и л К л и м е н т ь е в <http://bit.ly/23h4iT3>

NATOの政策は、ロシアの立ち位置に「唾吐くようなまったく無関心な態度」だと、6月17日、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領はサンクトペテルブルグ国際経済フォーラム（SPIEF）で声明し、こう述べた。

「ソ連はもうなく、ワルシャワ条約も既に存在しない。なぜNATOのインフラを常に拡大し、ロシアの国境へ接近する必要があるのかわからない。」

また、「妥協案を探るためでもある協力」に向けた、まったく違う論理をロシア側は持っている」と指摘し、プーチン大統領はこう強調した。

「もしこのようなアメリカの論理のもとでお互いを脅すために行動し、勢力を拡大したならば、

いつかは『冷戦』に至るだろう。」

<http://bit.ly/1Y02Wgc>

## 平和条約に関するロ日協議 6月22日 東京で

(スポーツニク 2016年06月18日 01:10)

© AFP 2016/ Alexander Nemenov <http://bit.ly/1SadAyy>

平和条約に関するロ日競技の次のラウンドは、6月22日、東京で行われる。17日、ロシア外務省が伝えた。ロシア外務省の発表は、次の通り—

「22日、ロシアのイーゴリ・モルグロフ外務次官と、対ロシア関係日本政府代表の原田親仁氏が、東京で、平和条約問題に関するロ日交渉の定例ラウンドを行う。」

<http://bit.ly/1Y02Sx8>

## いかに 米国を気にせず露日関係を構築するか？

(スポーツニク 2016年06月18日 07:01 アンドレイ・イワノフ)

Д м и т р и й А с т а х о в <http://bit.ly/1Uo1NL4>

訪日中のセルゲイ・ナルシキン露下院議長は日本に対し、対露関係はこれを阻害しかねない第3国の意見に耳を傾けることなく構築するよう呼びかけた。ここ数ヶ月の経験は、これは困難ではあるものの実現不可能ではないことを示している。

ナルシキン氏のいう「第3国」とはもちろん米国だ。米国は日本にとっては主たる軍事政治同盟国であるため、米国の方を見ないということは日本の政治家には単に不可能だ。このため米国のアジアにおけるMD展開、より正確に言えば日本領土における米MD展開に協力もしている。ところがこうした行為が、ナルシキン下院議長が公明党幹部との会談でずばりと言ったように地域のパワーバランスや出来上がっている安全保障システムを破壊するためにロシアの非常に大きな憂慮の念を招いている。

日本が米国とMDをはじめとして協力しているのは、それを中国抑止戦線をつくらうとする米国が強要しているからだけではない。日本人自身も中国の尽力を恐れているからだ。外からの攻撃、あるいはテロに対する恐怖はここ数年、国際政治の主たるファクターに留まらず、暴力的行為を正当化する言い訳にもなっている。たとえばサダム・フセイン氏の所有する大量破壊兵器（といっても、結局それは見つからなかったが）への恐怖からイラクへの軍事侵攻は正当化された。



そして今、米国率いる西側諸国はアジアにおける中国の脅威、欧州におけるロシアの脅威を盛んに煽っている。中国の攻撃性を証明するのは南シナ海におけるその行動だ。だが中国があつかましく振舞う理由は係争諸島周辺の天然資源を我が物にしたいからではなく（これがゆえに近隣諸国との関係を台無しにする価値はない）、米国が中国抑止、孤立化路線をとったことを目にしたからだ。

だがロシアが悪者なのは1990年代の経済、社会、政治カタストロフィー後、息を吹き返し、ロシアにだって独自の国益があり、これは米国の国益とは全部が全部一致しないと主張し始めたからなのだ。このためにロシアは償うことのできないあらゆる罪業（他人の分まで含めて）の張本人として糾弾され始めた。2008年はグルジアに対する軍事侵攻で責められた。とはいえ、これはグルジアが南オセチアに最初に攻め入ったのだったが。そして2013年末、ソチでの冬季五輪を台無しにする目論見でロシアでは性的少数者が差別されているとして大々的な騒ぎが起こされた。これもロシアでは児童間でこうした性的少数者のライフスタイルを宣伝することが禁じられただけの話で、ところ変わってサウジアラビアなど性的少数者であれば首切りの刑に処せられているのだが。これに対しては、そういえば西側は口をつぐんでいる。それから極めつけはクリミアの「併合」だ。とはいえこの「併合」をクリミア半島の住民の9割が切望したのだが、西側の自由と民主主義の擁護者らはこれを見ようともせず、今度はロシアがバルト諸国に攻撃を仕掛けるぞと脅かし始め、ロシアと国境を接する諸国にNATOの兵員を増員している。

<http://bit.ly/1Pz1Hff>

## プーチン大統領 クリントン氏についての質問に「それはラヴロフ外相に聞いてみたまえ」

(スプートニク 2016年06月18日 11:32)

© Sputnik/ Михаил Климентьев <http://bit.ly/21rSwUp>

17日、プーチン大統領は、サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムで、米民主党の大統領候補、ヒラリー・クリントン前国務長官についての質問に応じた際「それは、ラヴロフ外相に聞いてみよう」薦めた。

大統領は「私は何も言うことができない。彼女と働いたことがないからだ。ラヴロフ外相に聞いた方がよい」と述べた。その後、プーチン大統領は、彼女の夫であるビル・クリントン大統領と会った時の思い出を次のように語った—

「私たちの間は、大変よい関係だった。何度か彼は、注意と尊敬のサインを私個人にも、そしてロシアにも示してくれた。そのことを私は覚えている。ただヒラリー・クリントン氏には、露米関係について御自分の見解があるだろう。」

<http://bit.ly/1SaAiA5>

## ベルリンで「難民を食べろ」キャンペーン中（写真、動画）

（スプートニク 2016年06月18日 12:32）

© AFP 2016/ John MACDOUGALL <http://bit.ly/1XvjID4>

芸術家協会「政治の美」による新しい活動がベルリンで行われていると、Sputnikのドイツ語サイトが伝えた。[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/1sLbgmF>

ベルリンの中心部で、芸術家たちがミニアリーナを設置し、そこに4匹の虎を放した。今協会のメンバーは、この虎に食べられてもよいという難民によるボランティアを探している。この行為は、ドイツにすでに滞在している難民の、家族や親戚が乗るはずの2週間後の飛行機を、ドイツ当局が着陸させないことへの抗議の印となるだろう。動画 <http://bit.ly/1ZXW6oF>

<http://bit.ly/1UTT6be>

## EU大使 リトアニア当局に対し「もっと堅実に」ロシアに対処するようアドバイス

（スプートニク 2016年06月18日 13:31）

© Sputnik/ Sergey Kuznecov <http://bit.ly/268X4Cm>

モスクワ駐在のヴィーガウダス・ウシャツカス EU大使は、対ロシア関係において紛争をもっと少なくする必要性を訴えた。リトアニアの新聞「Lietuvos zinios」が報じた。大使は、次のように述べている—

「今のリトアニア・ロシア関係について言えば、ウクライナで起こっていることに、リトアニアが大変敏感に反応していることは理解できる。そうしたことが、自分の国にも起こる可能性があるかと心配しているのだ。一方で、どのような場合も、ロシアを『侵略者』呼ばわりすることは、リトアニアの安全にプラスとはならない。両国の経済関係を損なうだけだ。」

<http://bit.ly/1XvjJXG>

## サンクト国際経済フォーラムのテーマは対ロ制裁ではなく、ロシアとの協力

（スプートニク 2016年06月18日 15:15 アンドレイ・イワノフ）

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://bit.ly/1UfKbrB>

ロシアの北の都サンクトペテルブルグでは、国際経済フォーラムが開かれている。スプートニク記者は、その参加者に話を聞いた。フランスのユベール・ヴェドリーヌ元外相は、EU・ロシア関係の展望に関するスプートニク記者の質問に対し、次のように答えた—

「それについて総体的に答えるための、完全な知識が私には十分でない。ただウクライナやミンスク合意に関し、明らかな意見の食い違いがあった、緊張した時期でさえ、常に、ロシアとの対話継続は有益だとみなす欧州の活動家が存在した。今年、これについて特別の意見を持っているイタリアなど、さらに多くの欧州の国々が、意見の違いはあっても、最高レベルで会って、問題を話し合う必要があると考えるようになるだろう。」

ドイツの政治学者、アレクサンダー・ラル氏は、対ロシア制裁への欧州の態度について、次のように話してくれた—

「対ロシア制裁に、欧州のビジネス界は強い不安を抱いている。制裁解除に向けた欧州の政治家達への圧力は、政治家達が考慮しないわけにはいかないくらい大きい。そうした雰囲気の中で、今回の経済フォーラムが行われている。ここでは、どうしたらそうした目的を達することができるかについて、重要な交渉がなされている。欧州には、ロシアに対する一つのまとまった政策を作成するという、重大な問題がある。欧州各国は、一つのテーブルについて、一体どのような原則が、制裁政策の基礎に置かれているのか、それを明らかにする時を迎えている。『現実的な政策』に戻る必要がある。EUとロシアの関係は、徐々に、ますます理性の声に耳を傾けるようになっている。」

中国を代表する投資会社の一つ、Fosun International Limited（復星国際、中国・上海市にある複合企業、投資会社）の副会長兼最高経営責任者（CEO）リャン・スィンジュン氏は、ロシアにおける自分の会社の活動について、次のように語った—

「ここ2～3年の間に、すでに我々は、ロシアに数千億ドル投資をした。投資先は主に、保健衛生、観光、食品、環境保護領域だ。そうした資本の投下は、常に割にあうものだ。我々は、完全な競争力を持っていると私が見込んだ、ロシア企業の十分な株や債券を手に入れた。ロシア議会・下院は、近い将来、ロシアの投資環境を懸念するには及ばない。我々は、クリミアやバイカル湖、そして見るもののあるロシアの他の地域における観光業の発展に積極的に参加するつもりだ。中国人旅行客は、満足を持って、そうした場所を訪れるだろう。もちろん、観光のためのインフラ、特にサービスの質は、さらに完全なものにしなければならぬ。それが改善されれば、ロシアは、もっと多くの旅行客を引き付けることができ、その事は、国の経済発展において、肯定的な役割を果たすに違いない。」

<http://bit.ly/1ZXXTKn>

## プーチン大統領「ロシアは侵略の非難を浴びても、西側の措置に答える」

（スプートニク 2016年06月18日 15:29）

○ Sputnik/ Михаил Климентьев <http://bit.ly/1Yymk2t>

プーチン大統領は「ロシアは、侵略行動との非難を浴びても、西側の措置には答えざるを得ない

だろう。戦略的バランスを保証する必要がある」と述べた。プーチン大統領は、次のように指摘した-

「私が正確に知っているのは、我々が、答えざるを得ないだろうということだ。それが単なる答えだとしても、我々は侵略的振舞いをしてしていると非難されるだろう。私があらかじめ知っているのは、その事だけだ。しかし、我々が、安全を保障しなければならないという事は、明らかである。それは自分達だけの安全ではない。我々にとって非常に重要なのは、世界における戦略的バランスの保証である。」

このように強調したプーチン大統領は、さらに「まさにこの戦略的バランスこそが、地球上に保証された平和を約束したのだ」と付け加えた。

<http://bit.ly/1W504Nk>

### **誰がジョー・コックス議員を殺したのか？ 英国で 26 年ぶりの政治的殺人**

(スプートニク 2016 年 06 月 18 日 16:04)

© AFP 2016/ Daniel Leal-Olivas <http://bit.ly/1YyokaY>

16 日、英国で、ジョー・コックス下院議員が殺害された。41 歳の若さだった。彼女は「労働党の希望の星」とみなされていた。コックス議員は、英国の EU 離脱に反対し、積極的な活動を展開していた議員の一人だった。彼女を殺害したのは、トーマス・メアという 52 歳の男性で、昨年、精神病の治療を受けている。

コックス議員を襲った時、メア容疑者は「英国優先」と叫んだという。なお現在英国内では、EU 離脱を積極的に支持する、同じ名前の極右政党「英国優先」が活動中だ。メア容疑者の名前は、EU からの英国の離脱を主張する極右団体 Springbok Club のリストの中に 2006 年すでに、登場している。調査の結果いかにかわらず、コックス下院議員殺害事件は、すでに政治問題化しており、英国では、EU 残留か離脱か、その是非を問う国民投票について、いかなる議論をすることも一時停止する決定が下された。

<http://bit.ly/1WSXH0p>

### **独外相、東欧での NATO の演習批判**

(スプートニク 2016 年 06 月 18 日 18:40)

© AFP 2016/ Petras Malukas <http://bit.ly/1W67wYr>

ドイツのフランク＝ヴァルター・シュタインマイヤー外務大臣が、バルト三国で行われている N

A T Oによる多国間軍事演習「セイバーストライク (Saber Strike)」を批判し、ロシアに対話と協力を呼びかけたと、ロイター通信が伝えた。

シュタインマイアー外相は、独紙「Bild am Sonntag」のインタビューでこう述べた。

「我々が今、すべきではないことは、武器を大きく鳴らし軍人が叫ぶことで、情勢を緊迫化させることだ。N A T Oの東の国境で行われる、戦車による象徴的なパレードが、安全をより確実なものにすると考えている人は、間違っている。」

防衛の準備は、対話と協力の準備と平行して行われなければいけないとし、「ロシアを責任ある国際的パートナー関係に引き入れる」必要があると、シュタインマイアー外相は語った。

「Saber Strike」は、駐ヨーロッパアメリカ陸軍が行う演習で、N A T Oに加盟している 13 カ国から軍人約 1 万人が参加する。

<http://bit.ly/21sX1hm>

### 中露間に新たな通信ケーブル敷設

(スプートニク 2016年06月18日 19:13)

© Fotolia/ Angelus\_liam <http://bit.ly/1UpyBDs>

通信サービスのレベルを向上させるため、新たな通信ケーブルのトンネルが中露間に敷設されたと、中国の新華社が伝えた。通信ケーブルは6月17日に引かれ、黒竜江省の国境地帯を通る。敷設後は、北京とモスクワ間行き来する信号の移動距離は、2万7,000から、7,000キロメートルまで、短縮される。

<http://bit.ly/10wlHV5>

### 日本のビジネスマン、ロシアから日本への送電線敷設を提案

(スプートニク 2016年06月18日 19:50)

© Fotolia/ Daniilantiq2010 <http://bit.ly/1m9WBOS>

6月17日、ペテルブルグ国際経済フォーラムの一環で、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領と日本の起業家の会談が行われ、日本のビジネスマンは、ロシアから日本への送電線の敷設を提案したと、ロシア産業起業家同盟のアレクサンドル・ショーヒン会長は伝えた。

日本への電力供給計画は、ロシアの会社3社が持っている。その三社とは、「統一エネルギー・

システム」、 「ルスギドロ」傘下の「RAO東エネルギー・システム」、 「ロスセチ」だ。しかし、日本への電力輸入は現在禁止されており、輸入許可については、政府レベルで検討しなければならない。

<http://bit.ly/1W67Qq6>

### **米マケイン上院議員「銃乱射事件の責任はオバマ大統領にあり」と発言し地元の支持を失う**

(スプートニク 2016年06月18日 21:37)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <http://bit.ly/1ruZYli>

米共和党アリゾナ州選出のジョン・マケイン上院議員は、フロリダ州オーランドで起き、49人が犠牲となったナイトクラブ「パルス (Pulse)」での銃乱射テロ事件の責任は、オバマ大統領にあると主張した。新聞 The Washington Post が伝えた。マケイン上院議員は、イラクにおける米国の行動と、オーランドで起きた事の間には、論理的なつながりがあると指摘している。彼は、今週すでに一部の記者団に、次のように述べた—

「オバマ大統領は、この事に直接的な責任がある。なぜなら、彼が米軍部隊をイラクから撤退させたことで、国際テロ組織『アルカイダ』は、シリアに向かい『ダーイシュ (IS、イスラム国)』となったからだ。『ダーイシュ』は、オバマ大統領の政策の失敗のおかげで、彼らが今あるようなものになったのだ。」

この発言の後、マケイン上院議員のもとでは問題が生じ始めた、新聞 Huffington Post によれば、彼の選挙区であるアリゾナ州では、人々が彼に背を向け、その結果、民主党の対立候補である前の下院議員アン・カークパトリック氏を支持する人の数が急激に増えた。

6月12日、ゲイクラブ「パルス」 (Pulse) でオマル・マティーン容疑者は銃を乱射、49人が死亡、53人が負傷した。犯人は、アフガニスタン出身のフロリダ州住人で、警官隊との銃撃戦で死亡した。この事件は、米国で起きた銃撃事件としては、その犠牲者の数で史上最悪のものとなった。

<http://bit.ly/1SbBoMa>

### **ペテルブルグ国際経済フォーラム 2016 で 330 以上の協定に署名**

(スプートニク 2016年06月18日 22:00)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <http://bit.ly/1ZZhjyK>

これまでの見積もりによると、ペテルブルグ国際経済フォーラム 2016 で 332 の協定に署名されたと、組織委員会幹事長アントン・コビャコフ氏が伝え、フォーラムを総括する会議でこう述べた。

「6月16日から18日までに署名された公式の協定の総数は332個に上る。この数は、企業秘密でない協定だけの数だ。また、協定の総額は1兆240億ルーブルだ。」

また、去年のペテルブルグ国際経済フォーラム2015では、205の契約書に署名された。さらに、フォーラムの会場でロシア企業とイタリア企業が署名した契約は13億ドルだと、コビャコフ氏は述べた。第20回ペテルブルグ国際経済フォーラム(SPIEF)の参加人数は1万2,000人を超えた。またフォーラムには合計で、21カ国からの230の大臣と、74の連邦構成主体の長、1,300の多種多様な会社が参加した。

<http://bit.ly/1sMca2a>

## 露、NATO東部でのあらゆる強化に対称的な対応

(スプートニク 2016年06月18日 22:51)

© Sputnik/ Vladimir Pesnya <http://bit.ly/1Ug84Gr>

NATOの東の国境の強化のあらゆる行動と釣り合うようにロシアは対応すると、ロシア連邦安全保障会議の副書記、エフゲニー・ルキヤノフ氏は述べ、ペテルブルグ国際経済フォーラムでこう語った。

「なので、特に動揺することはない。相応で結果をもたらし、コストのかからない対応だ。」

今週NATO加盟国の国防大臣たちは、バルト三国とポーランドに、多国籍の4大隊を配備した。隊員の多くは、ドイツ、イギリス、アメリカ兵だ。

NATOは今年はじめから、東欧での軍事プレゼンスの強化を審議しており、強化については、7月ワルシャワで開かれるNATOの首脳会議での中心的なテーマになるだろう。NATO東部での軍事力強化の必要性は、ロシアからの膨れ上がる軍事的脅威なるものによって説明されている。ロシアは誰にとっても脅威でもないが、ロシアの利益に危害を加える可能性のある行動は無視しないと、以前、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の報道官ドミトリー・ペスコフ氏は述べた。

<http://bit.ly/1PAaeP7>

## エジプト、モルシ前大統領に終身刑

(スプートニク 2016年06月18日 23:30)

© AP Photo/ Tarek el-Gabbas, File <http://bit.ly/26adH01>

エジプトの首都カイロの刑事裁判所で、モハメド・シリナ・ファフミ裁判官が、カタールのスパ



イの罪でエジプトのムハンマド・モルシ前大統領に終身刑を宣告した。裁判の様子はエジプトのテレビで放送された。さらに6人の被告に絞首刑が言い渡された。裁判の前に裁判官は、被告には自らを守る全ての可能性が与えられていると宣言した。

モルシ氏とエジプトで禁止されているグループ「ムスリム同胞団」は、モルシ氏が権力の座に就いている間、エジプトの弱体化を狙い、特殊部隊と軍の活動に関する機密文書を集め、カタールの諜報機関に渡したとして起訴された。被告人は、これは裁判ではなく、新権力による専制だと見ていると、一度ならず述べている。

<http://bit.ly/1UV5Z52>

### **世論調査：ロシアへの統合を望む沿ドニエストル住民の意志を確認**

(スプートニク 2016年06月19日 01:07)

© Fotolia/ David Alary <http://bit.ly/202bFNN>

17日、全ロシア世論調査センターのサイトに公開されたところでは、沿ドニエストルの住民達の大多数は、ロシアへの統合に賛成している。調査に参加した住民の86%がロシアとの統合を支持し、共和国として独立することに賛成したのは9%だった。またモルドワとの統合に賛成したのは2%で、ルーマニアとの統合を望む人は1%に満たなかった。

この調査は、今年2016年6月2日から9日まで、沿ドニエストル共和国のすべての行政区で1,200人を対象に実施された。沿ドニエストル・モルドワ共和国は、ドニエストル川沿いの両岸に広がる地域にあり、自ら独立を宣言しているが、国際的には、モルドワの一部とみなされている。

<http://bit.ly/1YzIWQd>

### **露、北極海の資源について米と合意の用意**

(スプートニク 2016年06月19日 07:00)

© Fotolia/ Arrlxx <http://bit.ly/1PAbk3I>

ロシアは北極海の資源調整についての合意作成という、アメリカとの共同作業の準備ができていると、土曜日、ロシア連邦安全保障会議の副書記、エフゲニー・ルキヤノフ氏は声明し、2016年ペテルブルグ国際経済フォーラムのセッション「北極圏の経済的可能性の実現化のための国際協力」での演説中こう述べた。

「環境の変化や技術的進歩によって期待できる北極圏へのアクセスの改善は、無責任で浪費的な資源利用を促進すべきではない。近い間に氷の膜から開放される可能性がある北極圏での、

資源採取を調整する合意の策定に関してのアメリカの提案に注目する。このような作業に参加する準備がロシアにはできている。」

<http://bit.ly/23iUxnf>

### **露国防相 プーチン大統領からの依頼でシリア大統領と会談**

(スプートニク 2016年06月19日 15:26)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://bit.ly/1W87uzo>

ロシアのショイグ国防相は、プーチン大統領からの依頼でシリアのアサド大統領と会談した。ロシア国防省が発表した。ショイグ国防相とアサド大統領は、軍事協力や軍事技術協力、ならびにシリアで活動するテロ組織との戦いにおける協力について協議した。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://bit.ly/266dbUD>

### **韓国情報機関：「ダーイシュ（IS）」が在韓米軍基地に対してテロを準備している可能性がある**

(スプートニク 2016年06月19日 16:29)

◎ Flickr/ Enno Lenze <http://bit.ly/1NrtliR>

テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」（ロシアで活動が禁止されている）が、韓国にある米軍基地と韓国国民をテロ対象に挙げた。聯合ニュースが、韓国情報機関の発表を引用して伝えた。聯合ニュースによると、「ダーイシュ」は「ソウル近郊の烏山などの米空軍基地のグーグル衛星地図と詳細座標」などを公開し、テロをあおったという。

なお情報機関の職員らは、「ダーイシュ」はこれらの情報をネット上のパブリックドメインで見つけ、自分たちのページに公開したとの見方を示している。また「ダーイシュ」は、「イスラムの名における復讐」も呼びかけたという。

<http://bit.ly/1UWr9Qb>

### **フランスの警官 オランド大統領との握手を拒否する（写真）**

(スプートニク 2016年06月19日 17:37)

◎ REUTERS/ Remy de la Mauviniere/Pool <http://bit.ly/1Tb0yNM>

フランスでテロリストによって6月13日に殺害された警官の追悼式典が行われた。式典の最中に、

フランス指導部にとって不愉快な出来事が起こった。仏オランダ大統領は、警官一人一人と握手を交わしたが、ある一人の警官は身動きせず、大統領が手を差し出したものの全く反応しなかった。大統領は先へ進んだ。

twitter.com/ <http://bit.ly/21uh1Ag>

<http://bit.ly/21uhm5U>

## **IOC、全ての露代表の五輪出場認めめ可能性**

(スポーツニク 2016年06月19日 18:55)

© AP Photo/ David J. Phillip <http://bit.ly/1UWu3V3>

国際オリンピック委員会（IOC）は、ロシア代表チームのリオデジャネイロ・オリンピック参加をまったく認めない可能性がある。もしくは、少なくとも、個々の種目のロシア代表を参加させない可能性がある。ロンドンで開かれたIOCの総会に参加した匿名筋の発言を引用し、ドイツの週刊誌「デア・シュピーゲル」が伝えた。

ドイツのマスコミが指摘するように、もしリオ・オリンピック参加を認められないのが陸上選手だけでなく、他の種目のスポーツないしロシアオリンピック委員会全ても含むならば、それは「歴史的決定」になるだろう。

国際陸上競技連盟（IAAF）の理事会は、前に全ロシア陸上競技連盟の資格を剥奪した。つまり、ロシアの陸上選手はリオデジャネイロ・オリンピックをパスしなければいけない。

IOCの実行委員会はこの決定を承認した。6月21日のサミットで参加許可が降りるかもしれないが、一方、ロシアのヴィタリー・ムトコススポーツ相によると、IOC実行委員会の声明から判断するに、ロシアのアスリートに参加の可能性は実質的にない。

<http://bit.ly/1rwfler>

## **ロシアの軍人 シリアでの空爆に関する米国のクレームに答える**

(スポーツニク 2016年06月19日 19:52)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <http://bit.ly/1U8Zjmc>

ロシアと米国の軍人たちはビデオ会議で、シリア領空における事故防止の覚書の実施について協議した。ロシア国防省のコナシェンコフ報道官が伝えた。コナシェンコフ報道官によると、米国側はロシアの航空機があたかも米国の依頼に反してシリア南部で在野勢力部隊へ意図的に空爆を行っ

たとへた。報道官は、「空爆を受けた施設は、米国側が停戦に加わった在野勢力の活動地域だと発表した領域から 300 キロ以上離れている」と述べた。

コナシェンコフ報道官によると、ロシア航空宇宙軍は、手順の枠組みの中で行動し、目標の選択について米国主導の有志連合に前もって知らせていたが、米国側は同国が管理下に置いている部隊の活動地域の座標を提供しなかったという。

報道官はまたロシア国防省はずいぶん前に米国に対してシリアで活動している勢力の所在地を記した共通地図の作成を提案したが、まだ進展はないと伝えた。なおコナシェンコフ報道官は、意見交換は建設的な雰囲気の中で行われたと指摘した。

<http://bit.ly/1tDLH7Q>

## **ブリュッセルの駅で不審なスーツケース 2 個発見 避難**

(スプートニク 2016 年 06 月 19 日 21:15)

© AFP 2016/ John Thys <http://bit.ly/1jcCFIT>

ブリュッセルの鉄道駅「中央駅」で 19 日、不審なスーツケースが 2 個見つかり、乗客らが避難した。サンデー・エクスプレスが報じた。

警察は、荷物預け所の近くで持ち主のない荷物が見つかったと発表し、「将校らはリスクをおかさないことを決め、警報を発表した」と指摘した。駅の近くのホテルの利用客らも避難したという。ベルギー警察は 18 日、テロを計画した疑いで 12 人を逮捕した。逮捕された 12 人は、ベルギーでテロ攻撃を計画していたと見られている。

3 月 22 日、ブリュッセルでは国際空港の発着ロビーで二度の爆発が発生。続いて地下鉄でさらに 2 度の爆発が起こった。現在の情報では、空港と地下鉄で発生した爆発による死者は 30 人、負傷者は合わせて 200 人以上だと公式発表した。テロ組織ダーイシュが犯行声明を出している。

<http://bit.ly/24ZNnnh>

## **シリア西部でミグ 21 大破**

(スプートニク 2016 年 06 月 19 日 21:28)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://bit.ly/1M1cKS4>

シリア西部に位置するハマ県で、シリア空軍のミグ 21 (MiG-21) 戦闘機が大破し、乗組員が死亡した。自社の情報筋を引用し「スプートニク」が報じたと、「リアノーボスチ」が伝えた。スプー

トニクの対談者はこう述べた。

「ミグ 21 戦闘機は日曜日 19 日、ハマ空軍基地で技術的理由から墜落した。乗組員は亡くなった。」

事故が具体的にいつ起こったのかは、確認されていない

<http://bit.ly/1sNz8pE>

### **トルコ国境警備隊員が難民 11 人家族に発砲 死亡させる**

(スプートニク 2016 年 06 月 20 日 09:00)

© AP Photo/ Vadim Ghirda <http://bit.ly/1Uht3Ea>

トルコの国境警備隊員が、女性や子供を含むシリア難民 11 人に発砲し、死亡させた。スカイニュース・アラビアによると、撃たれた 11 人は全員一つの家族だったという。トルコの国境警備隊員らは、難民たちがシリアの居住地区ジスル・エシ・シュグル近くの国境を超えた時に発砲した。これまでも同様の事件が起こっている。3 月末には、数ヶ月間で国境を超えようとした難民 16 人が、トルコ軍人の攻撃によって死亡したと発表された。

<http://bit.ly/1Sd50xB>

### **イスタンブールでロックバンド「レディオヘッド」のファンが襲撃される（動画）**

(スプートニク 2016 年 06 月 20 日 12:11)

© AFP 2016/ Sylvain Thomas <http://bit.ly/28Kqi40>

トルコ最大の都市イスタンブールで 17 日夜、数人からなるグループがレコード店「ベルベット・インディーグラウンド (Velvet Indie Ground)」に押し入り、英国のロックバンド「レディオヘッド」のファンたちを襲撃した。ポータル Buzz Feed が、トルコのマスコミの情報を引用して伝えた。

同レコード店の所有者は韓国人。レコード店が開催した「レディオヘッド」の音楽を聴くイベントに、数人のグループが叫びながら押し入り、機器を壊し始め、参加者を外に引きずり出して殴った。事件の一部は動画撮影された。

**動画** <http://bit.ly/28JeoHc>

Buzz Feed によると、襲撃したグループは、レコード店のイベントの参加者たち（少なくとも外国人 2 人を含む）が、イスラム教の断食月ラマダン中にビールを飲み、ロックを聴いていたことに腹

を立てたとみられている。

なおマスコミによると、深刻なけがをした人はいなかったが、この事件はトルコの観光業およびトルコで最も人気のある都市の一つであるイスタンブールにとって更なる打撃となる。「レディオヘッド」は、トルコのファンへの支持を表明した。

<http://bit.ly/28LS021>

### **ロシア軍人 シリアでテロを防ぎ死亡**

(スプートニク 2016年06月20日 19:59)

© Sputnik/ Aleksey Nasyrov <http://bit.ly/1PRI570>

ロシア国防省は、シリアでロシアの紛争当事者和解センターの人道支援輸送隊の警備を担当する軍人アンドレイ・ティモシェンコフ軍曹が死亡したと発表した。ティモシェンコフ軍曹は、シリア西部ホムスの住民へ人道支援物資を配布している場所へ突入しようとした自爆テロ犯が乗った爆弾が積まれた自動車を停止させて死亡した。

自動車が爆発した際にティモシェンコフ軍曹は致命傷を負ったという。ロシア国防省は、「ティモシェンコ・アンドレイ・レオニードヴィチ軍曹には、司令部により死後に国家賞が授与された」と伝えた。

<http://bit.ly/28JFi0d>

### **サハリンの捜索隊 日本兵5人の遺骨を収集**

(スプートニク 2016年06月20日 16:24)

© Sputnik/ Sergey Krasnouhov <http://bit.ly/28K0ww0>

サハリンの捜索隊が、第二次世界大戦時の日本兵5人の遺骨を収集した。「ロシア捜索運動」サハリン支部の責任者アルチョーム・バンドゥーラ氏が発表した。先に「ロシア捜索運動」の活動家たちは、スミルニホフスキー地区の激戦地で日本兵2人の遺骨を発見したと伝えたが、捜索隊が遺骨の収集に向かったとき、さらに多くの遺骨があることが分かった。

兵士たちの国籍は、スパイクやボタンの付いた靴によって判明したという。バンドゥーラ氏は、日本人は全員、必要な衛生条件を遵守した埋葬地に横たわっており、恐らくかつての射撃壕に入れられ、土をかぶせられたとみられると指摘した。

捜索隊は初秋に見つかった日本兵全員の遺骨を在ユジノサハリンスク日本領事館の代表者に引き

渡す予定。

<http://bit.ly/28JPXba>

## スポーツニク日本語課のアンドレイ・イワノフ編集長が逝去

(スポーツニク 2016年06月21日 02:21)

◦ 写真: <http://bit.ly/28KjtCs>

6月19日、スポーツニク日本語課の編集長のアンドレイ・ウラジーミロヴィチ・イワノフ氏が逝去。享年58歳だった。イワノフ氏の人生のほとんどはジャーナリズムと日本と結びついていた。イワノフ氏は雑誌『今日の日本《Япония сегодня》』、『新時代《Новое время》』、『惑星のこだま《Эхо планеты》』に執筆し、長年、ビジネス紙『コメルサント』の外交政策部の記者を務めていた。国際交流基金の招きにより、東京大学社会情報研究所で日本メディアの研究を行った。

イワノフ氏は2012年、「ロシアの声」（スポーツニクの前身）日本語課に就職した際にはすでにジャーナリストとしての大きな経験と知識を携えており、数々の重要な解説を執筆しただけでなく、後進の指導に積極的にあたっていた。

私たちはここで単に仕事をしているわけではない。家族に喜ばしいことがあれば自分のことのように共に喜び、問題が起きればなんとか解決しようと共に知恵を絞り、悲しいことが起きれば手をつないで悲しみを共に味わってきた。

アンドレイさんは本当に優しい人だった。誰かが困っているとわかると、その人が頼む前に自分からさっさと問題解決に精を出す、そんな頼もしい人だった。権力を恐れず思ったことはずばりと発言した。たくさんの友人に慕われ、アンドレイ、お前が相手なら話をすると信用を勝ちえ、それによってすばらしい記事を書く、本当のジャーナリストだった。

私たちはみな、アンドレイさんの薫陶を受けて勉強し、成長してきた。アンドレイさんの飛ばす冗談に大声で笑い、ユーモアに助けられながらここまでやってきた。そんな頼もしい編集長を突然失い、私たちは動けないほどのショックと悲しみを味わっている。

アンドレイさんのご冥福を心からお祈りしています。アンドレイさんの近親者の方々に心からお悔やみ申し上げます。

スポーツニク日本語課一同

<http://bit.ly/28KVvxB>



## 新型7トン自律型戦闘ロボット RoBattle お披露目（動画）

（スプートニク 2016年06月20日 19:32）

◎ 写真：Israel Aerospace Industries Ltd. <http://bit.ly/28LUIVd>

RoBattle とは、イスラエルの兵器メーカー「イスラエル・エアロスペース・インダストリー（I A I）」が作ったモジュール設計のロボットだ。RoBattle の重さは7トンで、3トンまでの重さのセンサー、武器、戦闘行動に不可欠な他の道具を運ぶことが出来る。

設計者はRoBattle をこう説明する。「RoBattle は、I A Iによる最新の地上ロボットシステムを代表する機体で、自動制御、ナビゲーション、レーダーマッピングの部品を含むモジュールや、センサー、一そろいの物資が搭載されている」。

システムは自立的な運用、キャタピラーと車輪による移動が可能だ。

今週、地上、航空防衛システムがテーマの、パリ郊外で開催された国際防衛・安全保障展示会ユーロサトリ 2016 でロボットが展示された。

動画 <http://bit.ly/280Cnpy>

<http://bit.ly/28KkAC4>

## オーストリア外務省 対ロシア制裁の段階的な解除案を提案

（スプートニク 2016年06月20日 20:14）

◎ Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://bit.ly/28JPBRo>

オーストリアのクルツ外相は、対ロシア制裁の段階的な解除をEUに呼びかけた。テレビ ORF TV が伝えた。

クルツ外相は、「私は、我々はミンスク議定書（の項目）が一つ遂行され、一つの行動が起こされる度に、その引き換えとして、筋道を通して制裁が解除されるという状態に徐々に移行するべきだと考えている」と述べ、「ロシアに応じて重要な一歩を踏み出す」時が訪れたと強調した。

外相によると、EUはすでにロシアに対する措置は間違った方法だということについて議論を行っているという。外相はまた、ロシアも欧州に応えることに期待を表した。

ロシアに対する現行の制裁は7月31日まで。ハンガリー、キプロス、ギリシャ、イタリア、スロバキアのEU加盟国5カ国は、対ロシア制裁の緩和あるいは解除を支持しているという。

マスコミの情報によると、EU加盟国の外相会合で21日、ロシアに対する制限措置の延長について協議される見込み。

<http://bit.ly/28L3W3K>

## **インド 米国の言いなりになって露中との友好を無視することはない**

(スプートニク 2016年06月20日 20:30)

◎ Flickr/ Sanyam Bahga <http://bit.ly/28JHDbX>

インドは20日、米国との強固な関係に関連して、ロシアと中国を無視するつもりはないと発表した。インドのスワラージ外相は19日、米国がWTOの機能障害となりつつあるという声明は、まったく正確ではないと発表した。インドのモディ首相も、印米関係は現在高いレベルにあるが、インドはロシアと中国との関係は無視することはできないと述べた。

<http://bit.ly/28KsSrI>

## **日米印 海洋安全保障について協議**

(スプートニク 2016年06月21日 06:42)

◎ AP Photo/ Emily Wang <http://bit.ly/1P1BdXU>

日米印の外務省の代表者たちが21日、東京で会談を行う。共同通信が20日、報じた。会談のテーマは、ナビゲーションの安全保障問題となる。同会談は南シナ海、東シナ海、インド洋で中国の活動が活発している中で行われる。中国は数十年にわたって複数の国々と南シナ海の島々に対する領有権を争っている。東シナ海では尖閣諸島（中国名：ジャオユイダオ）をめぐる中国との領有権争いに日本が巻き込まれた。中国船は最近、係争諸島の周辺にほぼ常時おり、定期的に沿岸域に入ってデモンストレーションしている。

<http://bit.ly/28KtKiK>

## **露日間の平和条約の運命は6月22日に決まるか？**

(スプートニク 2016年06月21日 12:39 リュドミラ・サーキャン)

◎ Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://bit.ly/28Ku5iT>

6月22日、露日の作業部会の会合が予定されている。会合の課題には平和条約の基本項目の策定、合意作業が入っている。話し合いにはロシア側からはイーゴリ・モルグロフ外務次官が、日本側か

らは原田親仁前特命全権大使が参加することになっている。

この会合を目前に控える形で日本でナルィシキン下院（国家会議）議長は声明を表し、「ロシアと日本の協力は不可避」と語った。ナルィシキン下院議長は、日本の指導部もあらゆる方面での協力の必要性を理解しているとの確信を表している。ナルィシキン氏は、共通のテーマやいくつかの問題で立場の一致が認められ、信用が生まれつつあると指摘し、「より胸襟を開いた関係はこの地域の緊張を取り除き、2つの民族にとっての平和と安全を約束する」と結んでいる。

日本でナルィシキン氏は両国の外交関係復活 60 周年を記念した第 11 回ロシア文化フェスティバルの開幕を宣言した。1956 年 10 月 19 日、ソ連と日本は戦争状態を停止し、外交関係を復活させることを見込んだ宣言に調印している。この時、クレムリンで盛大な雰囲気なかで共同宣言の調印が行われ、ソ連は其中で平和条約が締結された後、善意の表れとして日本にシコタン、ハボマイの 2 島を渡す用意を示した。ところが 1960 年代の初め、日本は米国との間に安全保障条約を結び、これにより自国領土の一部を米軍基地用に提供すると、ソ連政府は条約の中にソ連にとっての潜在的な危険性を認めると、島譲渡問題の検討は退けるとの声明を表した。2004 年 11 月、ラヴロフ外相は声明を表し、ロシアはソ連を継承する国として 1956 年の共同宣言をあるままに認め、これを土台として日本との間に領土交渉を行う構えであることを明らかにした。

岸田外相も、露日のリーダーたちの前回の交渉結果をふまえ、作業部会で「北方領土」および平和条約についての前向きかつ深い討論が行われることに期待を表した。5 月のソチでのプーチン・安倍会談の結果のひとつとなったのがこれから行われる会合だ。安倍首相はこの時、ロシアに対してクリル諸島の問題解決の新たなアプローチを提案したという声明を表し、万人の好奇心をかきたてた。この新たなアプローチが一体何から成っているかは、未だに明らかにされていない。

ロシア科学アカデミー、極東研究所、日本調査センターのヴァレリー・キスタノフ所長は交渉がすぐさま結実するという事は懐疑的だとして、次のように語っている。

「それぞれの立場にはまだかなりの隔りがある。私には想像しがたいのだが、日本は 1956 年の共同宣言の状態に戻ることに賛成し、返還要求を 2 島に限定した。さらに想像しがたいのは、ロシアは日本の希望に前向きにそって、4 島全島を渡すだろうかということだ。それでも対話は再開され、希望を与えており、この先の深化した話し合いのための将来性を開いている。『そういう問題も観点もない』と言ったソ連のグルムイコ外相時代のときのように全く話し合わないほうがよくなかっただろう。それにそれは二国間に凍りついた雰囲気を作っただろう。」

モスクワ・カーネギーセンターの専門家、アレクサンドル・バウノフ氏の見解は「安倍氏はクリル問題の早期解決を待つほどナイーブではない。逆に彼は、日本が中国と互角で張り合うことができるように、ロシアのために日本の投資、貸付を拡大する構えだ。日本は自分がある地域で友人を持たない。日本の隣国は中国、韓国といった地域大国で、これらは日本に懐疑的な姿勢を表している。このため対梅雨関係は日本にとって極めて重要なのだ。」

つづいて袴田茂樹氏も次のような見解を表している。

「今回安倍首相が5月にソチで新しいアプローチを提案したが、私自身専門家としては、南クリルの問題で現在日本にある程度譲歩してでもロシアは妥協できるかというところ、プーチン大統領はそういう状況には無いと見ている。その理由だが、2011年から2012年に掛けて、ロシアでは反プーチンのデモが何万人規模で行われ、支持率がかなり落ちた。しかしその後、2014年3月の『クリミアの併合』と2015年9月の末にはシリア空爆によってプーチン大統領の支持率は89.9%にまで上がった。これは、プーチン大統領は失った領土を取り返した偉大な大統領であり、シリア空爆の場合は世界にロシアの力を示した大統領として、ロシア国民の、あるいはプーチン大統領の支持基盤であるシロビキたちの愛国心を大いに満足させたので支持率は高まったわけのだ。失った領土を取り戻した偉大な大統領として支持率が上がっているのであれば、プーチン大統領は南クリルで譲歩するのは大変難しいだろう。」

<http://bit.ly/28K4ohh>

### **ブルー・オリジン社の再使用型ロケットの打ち上げ・着陸が動画に**

(スプートニク 2016年06月21日 13:34)

◎ REUTERS/ Blue Origin <http://bit.ly/28MuIpY>

アメリカのブルー・オリジン社は、再利用型ロケット「ニュー・シェパード」の打ち上げと着陸の様子を収めた動画を公開した。離着陸の様子が初めて中継された。アメリカ誌「ポピュラー・サイエンス」が伝えた。

打ち上げは2016年6月19日に行われた。ロケットは高度101キロメートルまで上がり、実験中ブルー・オリジン社はわざと「クルー・カプセル」のパラシュートを1つ展開しなかった。不測の事態に対する試験は成功裏に終わった。

<http://bit.ly/280j117>

### **北朝鮮 中距離弾道ミサイルを東海岸に展開**

(スプートニク 2016年06月21日 15:15)

◎ AFP 2016/ Ed Jones <http://bit.ly/28LuFKj>

北朝鮮が、中距離弾道ミサイル「ムスダン」とみられるミサイルを東海岸に展開した。聯合ニュースが21日、韓国の政府消息筋の話として伝えた。なお「発射が迫っている兆候はない」という。

また聯合ニュースによると、韓国軍関係者は北朝鮮のミサイル発射の動きについて、「関連動向を鋭意注視している」と述べた。「ムスダン」の射程は3,000キロ。2010年に平壤で開かれた軍事

パレードで初めて公開された。

<http://bit.ly/28UakEW>

### **米トランプ共和党大統領候補暗殺を準備していた男性 逮捕**

(スプートニク 2016年06月21日 15:01)

© REUTERS/ Chris Keane <http://bit.ly/28Mm7W8>

米国共和党の大統領候補ドナルド・トランプ氏支持者の集会で「1年間、彼の暗殺を準備していた」と述べた英国籍の男性が逮捕された。Sky News が伝えた。

この男性、マイケル・サンドフォード容疑者（19）は、18日土曜日、トランプ候補支持者の集会で、警察官から武器を奪おうとし逮捕された。その後彼は、取り調べの中で「自分は、トランプ氏を暗殺するためカリフォルニアからラスヴェガスにやってきた」と述べた。

サンドフォード容疑者は、集会の前日ラスヴェガスに到着し、訓練のため射撃場に向かった。彼は、それまで射撃経験はなかった事を認めている。

<http://bit.ly/28M1Qmj>

### **北朝鮮 弾道ミサイル発射の兆候 日本政府は破壊措置命令を出す**

(スプートニク 2016年06月21日 15:14)

© AFP 2016/ KAZUHIRO NOGI <http://bit.ly/28LfTF0>

日本政府は、北朝鮮が新たに弾道ミサイルを発射する兆候があるとし、自衛隊に対し、弾道ミサイルの迎撃を可能とする破壊措置命令を出した。NHKが伝えた。

これを受けて自衛隊は、迎撃ミサイルPAC3の部隊を展開し、イージス艦などで警戒に当たるという。北朝鮮は、射程2,500-4,000kmのミサイルを発射する準備をしているとみられている。

先週、鳥取県の海岸で、パトロールをしていた県の職員が、金属製の物体が漂着しているのを発見した。日本の防衛省はこの物体について、今年2月7日に発射された北朝鮮のミサイルの破片である可能性を排除しなかった。

<http://bit.ly/28MidMd>

## 日本の軍事用通信衛星 DSN-1 運搬の際に機体に損傷

(スプートニク 2016年06月21日 16:30)

© Sputnik/ Alexey Panov <http://bit.ly/28N0p3Q>

日本の軍事用通信衛星 DSN-1 X-band (「きらめき1号」) は、日本から南米ギアナ・クルにある宇宙センターに空輸の途中、機体本体に損傷が生じた。これに関連して、夏に予定されていた打ち上げは年内中止となった。Space news のポータル・サイトが伝えた。

損傷の度合い、どういった状況で損傷が生じたのか、衛星を修理のため日本に戻す必要があるのかなどについては、明らかにされていない。防衛省は、2013年に2基の衛星打ち上げプロジェクトを決めた。なお次の DSN-2 は、来年 2017年夏に予定されている。

twitter.com/ <http://bit.ly/28N0uVc>

<http://bit.ly/28NeEt5>

## ロシア 対ミサイル防衛システム実験 成功裏に行われる

(スプートニク 2016年06月21日 16:57)

© Sputnik/ Mikhail Fomichev <http://bit.ly/28NXFGG>

21日、ロシア国防省が伝えたところでは、ロシア軍は、対ミサイル防衛システムにおける短距離ミサイル打ち上げ実験を成功裏に実施した。実験が行われたのは、カザフスタンのサルイ・シャガン演習場で、ミサイルは成功裏に、目標を破壊した。

国防省によれば、今回の実験の目的は、航空宇宙軍に配備されている迎撃ミサイルの戦術技術的性能を確認することにあった。前回の対ミサイル防衛システムの打ち上げ実験も、やはりサルイ・シャガン演習場で、2015年6月に行われている。

<http://bit.ly/28MmQIF>

## ソロス氏「ロシアは EU 崩壊を背景に世界的な大国へ変わりつつある」

(スプートニク 2016年06月21日 19:14)

© REUTERS/ Ruben Sprich <http://bit.ly/28LhJ8E>

米国の著名な投資家ジョージ・ソロス氏は「ロシアは、EUの凋落を背景に世界的な強国へ変わりつつある」と述べた。21日、ロイター通信がソロス氏の言葉を引用して伝えた。ソロス氏は、現

在の状況について、多くの点で、欧州の諸国家を上から一つにまとめたEUの形成と繁栄の歴史は、ソ連崩壊の時代と類似点があると指摘している。6月初め、ソロス氏は「難民問題、ギリシャ危機、英国の離脱などを要因として、EUが崩壊する大きな可能性がある」と述べ、次のように続けた—

「もし英国がEUから離れば、それは、同様の離脱を誘発するだろう。そうなればEUの崩壊は、事実上避けられなくなる。」

<http://bit.ly/28NYyPc>

### 「自爆ベルト」を装着したテロリスト2人 ブリュッセルで拘束

(スプートニク 2016年06月21日 20:18)

© Flickr/ Israel Defense Forces <http://bit.ly/28NgOE9>

21日ベルギーのミシェル首相は、国内の安全措置強化に関する緊急協議を開く。ベルギーの新聞Nieuwsbladが伝えた。

この協議は、首都ブリュッセル中心部にあるショッピングセンターCity 2に爆弾が仕掛けられたとの情報に関連して開かれるものだ。

一方、すでに警察当局は、City 2付近で「何か自爆ベルトのようなもの」をつけ通りを歩いていた疑わしい人物を逮捕した。警察発表によれば、この人物からは、爆発物は発見されなかった。また地元のマスコミは、自爆ベルトを着けた人物もう1名が拘束されたと伝えている。

先に何者かが、警察に電話をかけ、自分は「自爆テロリスト」であり、ショッピングセンターを爆破すると予告している。

<http://bit.ly/28M5o39>

### 専門家：イスタンブール近郊でマグニチュード7の地震の可能性

(スプートニク 2016年06月21日 22:39)

© Sputnik/ Ruslan Krivobok <http://bit.ly/1N8Jva6>

トルコの首都イスタンブール沿岸での地質断層の緊張が強まっている。これは、マグニチュード7の地震を引き起こす可能性がある。ボスポラス大学カンディル観測所が証言した。

EU協力の下大学が3年間行ったマルマラ海周辺の地震に関する調査研究プロジェクトMARS I T Eの一環で、専門家はマルマラ海と海を囲む都市部と農村地帯を観察した。得られた情報が、



この地域での地震リスクレベルを予測するためのモデルを構築することを可能にした。

トルコの英字紙ヒュッリイェトデイリーニュースによると、調査の結果、主要諸島付近での断層の強い緊張の存在を確認できた。しかも、その緊張状態は大きな地震を起こせるほど強力なものだ。マルマラ海での津波の可能性についても研究され、早期警戒システムが開発された。

<http://bit.ly/28RGhfP>

### 「いつまで生きてるつもりだ」麻生氏、高齢者侮辱してないと考え

(スプートニク 2016年06月22日 00:33)

© Flickr/ Tinou Bao <http://bit.ly/28Uh5XE>

日本の副首相兼財相麻生太郎氏は、先日、高齢者への反語による発言「いつまで生きてるつもりだよ」は、侮辱するものではないと述べた。火曜日、東京の記者会見で麻生氏はこう述べた。

先週、講演で麻生氏は「90歳になって老後が心配とか、訳のわかんないこと言っている人が、こないだテレビに出てた」と語り、また「金は使って回さないとどうにもならない」と述べた。今回の記者会見で麻生氏は、侮辱するものではなかったと釈明し、こう述べた。

「経済の浮揚には消費の拡大が絶対必要」「高齢者が安心できる環境を整えるという趣旨で申し上げた。侮辱するものではなかった。」

麻生氏の時おりの失言は、2008年から2009年までの総理大臣在任時から広く知られている。最もスキャンダルを呼んだ発言の一つは、医療費負担に関しての次の発言だ。「食いたいだけ食って、飲みたいだけ飲んで、糖尿病になって病院に入っているやつの医療費はおれたちが払っている。公平ではない。無性に腹が立つ」。

<http://bit.ly/28MoI4d>

### ロシア駐中国大使—プーチン氏の今後の訪問、契約、新段階の貿易関係について

(スプートニク 2016年06月22日 03:03)

© Sputnik/ Host photo agency/Sergey Pyatakov <http://bit.ly/1LvQDmZ>

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の中国訪問の一環で、30の契約に署名される可能性がある。ロシアの駐中国大使アンドレイ・デニソフ氏がインタビューで記者団にこう述べた。

ロシア大統領は6月25日、中国の習近平国家主席の招待に応じ、中国を公式訪問する。ロシアと

中国の貿易経済関係は悪化する世界経済の中、より高いレベルに入るとデニソフ氏は言い、こう語った。

「物の単純な貿易に替わり、投資プロジェクトの交換が行われる。これは、それぞれのプロジェクトにより深く長い一少なくとも数年間の一経済関係を必要とする。」

中国の対露輸出は今年 2016 年四半期で 4.4%、年間 97 億 8,000 万ドルの増加となった。

<http://bit.ly/28PxcXG>

### **IOC、露五輪委員会の資格剥奪せず**

(スプートニク 2016 年 06 月 22 日 03:03)

© Sputnik/ Elena Sobol <http://bit.ly/28LjQtg>

ロシアオリンピック委員会は、ロシアスポーツ界でのドーピングをめぐる状況を究明するための重要な役割を演じ、協力を申し出たとして、国際オリンピック委員会（IOC）はロシア五輪委員会の罷免問題を審議しなかったと IOC のトーマス・バッハ会長は声明した。また、バッハ会長は火曜日記者団にこう述べた。

「ロシアオリンピック委員会の IOC 会員国資格は停止されない。ロシア五輪委員会はロシアスポーツ界のドーピングに関する、用意でない状況を究明するための重要な役割を演じたと国際陸上競技連盟の報告ではっきりと述べられている。」

個々のロシアのアスリートは国際スポーツ連盟に参加を承認された後に、リオ・オリンピックに参加できると IOC のバッハ会長は伝えた。この対応はドーピングをしていない全てのアスリートの平等を保障するため、そして禁止薬物を利用した者が優位に立たないように取られたものだとバッハ会長は指摘した。

<http://bit.ly/28MAya0>

### **日本は「アベノミクス」を放棄するべきだーIMF**

(スプートニク 2016 年 06 月 22 日 08:46)

© REUTERS/ Toru Hanai <http://bit.ly/28Ly8IR>

国際通貨基金（IMF）の専門家たちは、日本経済の現状のもとで、日本の指導部がポジティブな変化を達成することはできないだろうとの見方を示している。

IMFは、4年目を迎える安倍政権の経済政策「アベノミクス」について、効果的ではないことが分かった、と考えている。当局の行動は国が掲げたインフレ率と経済成長に関する目標達成の助けにはならないという。

IMFの専門家たちは、現在の経済路線が変わらなかった場合、日本銀行の政策が、日本経済の強い円安依存へ導くとの確信を示している。

IMFは、現在の状況のもとでは、日本が掲げる経済成長率やインフレ率上昇、財政黒字の目標を達成することはできないとの見方を示している。

<http://bit.ly/28MAZBR>

## **ロシア 福島第一原発の汚染水を最大限効果的に浄化する装置を日本に提案**

(スプートニク 2016年06月22日 10:18)

◎ Sputnik/ <http://bit.ly/28RLh47>

ロシアの専門家らは、福島第一原子力発電所の汚染水から放射性物質トリチウムを取り除くことができる試験装置の開発に成功した。6月20日、ロシア連邦北西部レニングラード州サンクトペテルブルグから70キロの町ソスノーヴィ・ゴラドにある原子力公社「ロスアトム」の関連企業（低レベルの放射性廃棄物を処理する「ロスラオ」の支部）の敷地内で、この装置が、初めて日本のマスコミに公開された。NHK、共同通信及び日本経済新聞の記者と共に、スプートニク日本のアンナ・オラロワ記者も、現地で所在に当たった。

**写真・ロシア国営企業「ロスアトム」傘下の5社によってつくられた「RosRAO」レニングラード州支部が所有する40ヘクタールの松林にある福島の汚染水除去設備**

◎ Sputnik. アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28NMjBM>

「ロスラオ」のレニングラード支部は、すでに1962年に基礎が作られた特殊企業「ラドン」の後継企業で、液体及び固体放射性廃棄物の処理、運搬そして保管に携わってきた。

**写真・放射性廃棄物の保管場所へ案内する「RosRAO」レニングラード州支部長アレクサンドル・ボグツキー氏**

◎ Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28RNr3I>

「ロスラオ」レニングラード支部の代表者によれば、原子力発電所などから出る汚染水から放射性物質トリチウムを取り除くことができる最初の装置を開発し始めたのは、2008年から2011年の時期だった。

**写真・福島の汚染水からトリチウムを除去する設備を開発したセルゲイ・フロリャ氏**

- Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28MaFHG>

福島第一原発の敷地内にたまった汚染水からトリチウムを除去する装置製造に向けての国際入札実施を、日本政府が発表するまでに、ロシアでは、水からトリチウムを除去する技術は開発されていた。そして浄化の効果は日本側が必要とするものより 100 倍も高い水準にあった。

#### 写真・蒸発器

- Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28MaBrr>

日本での国際入札のために作られた装置は、一度に 3 つのテクノロジーが使用されている点で特にユニークだ。その三つとは、摂氏 60℃での蒸留による水の浄化、C E C E プロセス（廃液処理法の一つ）、そして固体トリチウム廃棄物生成の際のスポンジチタンの利用である。これにより、汚染水を蒸気にして、トリチウムを水から分離させ、最終的に金属と混ぜて固形にすることができる。

#### 写真・水を酸素と水素に分離する電解槽

- Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/2803uE5>

試験装置は半年かけて建設され、2016 年 2 月に三菱総合研究所の代表らが公開用の施設を査察、そして 3 月 31 日、福島第一原発の汚染水処理用施設建設の入札の期限が切れた。現在日本側は、入札参加者に足りないデータを要求し、結果を検討中だ。

#### 写真・トリチウムを除去する設備を初めて見学した日本のジャーナリストグループ

- Sputnik. アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28NT0bn>

ロシアの「ロスラオ」以外に、国際入札には、米国の Kurion や、カナダ・日本共同の GE/Hitachi が参加し、勝利を目指し戦っている。

#### 写真・「RosRAO」レニングラード州支部長のアレクサンドル・ボグツキー氏

- Sputnik/アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28NTNUI>

スプートニク日本のオラロワ記者は「ロスラオ」レニングラード支部の指導者アレクサンドル・ボグツキー氏に話を聞いた—

「我々は、自分達のプロジェクトが、他より効果的で有益であることを証明するため、あらゆることをしている。我々は、日本の人々を助けることができるだろうと大変期待している。ロシアの設備が適用されるかどうかの決定は、日本側にかかっている。」

#### 写真・「RosRAO」率いるロシア企業のグループによって構築された福島のトリチウムを除去するためのテスト設備

- Sputnik/ <http://bit.ly/28NKVz6>

汚染された水からトリチウムを除去するシステムの製造には、ロシアの原子力公社「ロスアトム」に所属する 5 つの会社の 150 人以上の専門家が携わった。彼らの予想では、カスケード方式、つまり福島第一原発内に連続し数珠つなぎとなった 40 の浄化施設からなるカスケードを建設することで、5 年から 6 年の間に 83 万立方メートルの汚染水が浄化できる。

#### 写真・大気中のトリチウムの監視装置

◎ Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28Mrpmj>

その際、装置の開発に当たったセルゲイ・フロリャ主任は「長期的処分の対象となる固形トリチウム廃棄物は、全部で 3 立方メートルの容積のコンテナ 40 個分にしか過ぎない」と述べている。なおコンテナ中のトリチウムが崩壊する期間は、およそ 150 年である。

写真・作業の最終段階が行われている設備の一部について説明する「RosRA0」のロシア人開発者セルゲイ・フロリャ氏。作業の最終段階が行われている設備の一部について説明する「RosRA0」のロシア人開発者セルゲイ・フロリャ氏

◎ Sputnik <http://bit.ly/28MofM0>

ロシアでは、液体トリチウム廃棄物を海洋に捨てることは禁止されている。セルゲイ・フロリャ主任は「こうした放射性廃棄物浄化装置は、日本での入札条件に合わせて作られたものだが、ロシアのあらゆる原発にも設置することが可能だ。そうなれば、原子力発電所の稼働の際に形成されるトリチウムを含んだ水の浄化にかかるコストを、将来的には本質的に減らす助けになるだろう」と指摘している。

#### 写真・「RosRA0」の保管場所

◎ Sputnik/ アンナ・オラロヴァ <http://bit.ly/28NteKC>

<http://bit.ly/28MDm85>

#### ロシア 月に収容人数 12 人の基地建設へ

(スプートニク 2016 年 06 月 22 日 11:18)

◎ AFP 2016/ Eraldo Peres <http://bit.ly/10p3DW1>

ロシア宇宙庁「ロスコスモス」は、月に収容人数 12 人の基地を建設するプロジェクトを開発している。21 日、イズヴェスチヤ紙が報じた。

月面基地プロジェクトはもともと 1960 年代末から 1970 年代初頭にソ連で開発されていたが、「ロスコスモス」は新プロジェクトの検討中にソ連のプロジェクトから複数の案を借用した。なお月面基地の建設場所はまだ選択されていない。

基地建設の第一段階は、有人宇宙船と貨物船が安全に着陸できる場所の選択となる。基地そのものの建設は、居住モジュールとエネルギーモジュールから始める必要がある。「ロスコスモス」は、月の建設機械の設計略図はすでに作成されていると発表した。

<http://bit.ly/28Ln3c9>

## 日本の参謀本部「北朝鮮のミサイル発射により日本は脅威にさらされている」と認める

(スプートニク 2016年06月22日 14:54)

© AP Photo/ Eugene Hoshiko <http://bit.ly/10HbsM3>

水曜日朝、北朝鮮は、またも中距離弾道ミサイル発射実験を行った。韓国軍のデータでは、ミサイルのうち1発は、150キロ飛行し空中で爆発、もう1発は、400キロ飛行後、日本海に落下した。

あらゆることから判断して、6回目となる今回の発射実験は、多かれ少なかれ成功したと言ってよい。

中谷防衛相は、東京で記者団に対し「中距離ミサイルにとって必要な一定の特徴を示すものだった」とし、次のように述べた—「わが国の安全保障に影響を及ぼす事態は発生していない。弾道ミサイルの発射は、わが国を含む国際社会の安全保障上の重大な挑発行為で、断じて容認できない。」

中谷防衛相はまた「ミサイルは、原則的に、日本に達することができるかどうか？」という質問に対して、これを認めた。米国および韓国軍は、聯合ニュースの報道では、今回の実験がどれほど成功裏になされたかを理解するため、現在ミサイル発射のデータを分析中だ。

報道によれば、今回飛行した400キロという距離は、北朝鮮の中距離弾道ミサイルが到達できたものとしては、これまで最長である。なお、今回を含め北朝鮮は、全部で6回、中距離弾道ミサイル発射実験を行ってきたが、これは、国連安全保障理事会決議に反するものだ。

<http://bit.ly/28NMmJl>

## 欧州中央銀行 英国の「Brexit」に向け準備万端

(スプートニク 2016年06月22日 15:18)

© AFP 2016/ Daniel Roland <http://bit.ly/28Q67F0>

欧州中央銀行は、23日に実施される国民投票の結果、英国がEU離脱(Brexit)を決めた場合に備え、あらゆる準備を行った。これは欧州中銀のドラギ総裁が、欧州議会の聴聞会で述べたもので、総裁は「我々は、英国でのEU離脱の是非を問う国民投票実施後のあらゆる不測の事態に向け準備

ができています」と伝えた。これに先立ち火曜日、欧州中銀指導部は、英国がEUを離脱した際の対応策を協議するための会合を開いた。

また、先に日本をはじめスイスなど一連の国々の中央銀行は、もし英国がEUからの離脱を決めた場合、市場に追加的流動性を与える用意のあることを明らかにしている。なお火曜日、イエレン米連邦準備理事会（FRB）議長は、上院銀行委員会での報告で、英国のEU離脱のリスクを、米国および世界経済にとって最も重大な脅威の一つであるとした。

<http://bit.ly/28NMG11>

### **ロシア記憶と哀悼の日：「朝の4時、宣戦布告なしに…」（動画）**

（スプートニク 2016年06月22日 22:56）

© Sputnik/ Maksim Blinov 2/2 <http://bit.ly/28P6KdF>

今日ロシアでは、大祖国戦争の始まりに捧げられた「記憶と哀悼の日」を迎えている。これに関連してロシア国内では、数々の追悼行事が行われている。例えば、昨日夕方遅くに催された追悼行動「記憶の戦列」の参加者らは、モスクワ川沿いのクリミア河岸に1,418本のロウソクを立てた。この数は、当時のソ連が、ファシスト占領軍と戦った日数に相当する。

**動画** <http://bit.ly/28P78ZE>

1941年6月22日の朝4時、ドイツ軍は宣戦布告なしに、ソ連領内に大規模な侵攻を開始した。作戦には、191師団が参加、軍人の総数は730万に達した。ソ連指導部は、この段階で、攻撃してきた敵の力も分からず、ソ連軍は反撃に向け全く準備ができていなかった。そのため1,136機の航空機を失った他、最初の数か月でソ連側が被った人的技術的損失は、敵の10倍から20倍にもなった。勝利までの道のりは長く、1418日かかった。その間、ソ連では2,800万もの多くの人々が命を落とした。

<http://bit.ly/28RBaOK>

### **日ロ協会の会長 鳩山邦夫衆議院議員 東京で逝去**

（スプートニク 2016年06月22日 22:41）

© AFP 2016/ Toshifumi Kitamura <http://bit.ly/28R9NGG>

火曜日、日ロ協会の会長で、与党自由民主党の衆議院議員、鳩山邦夫氏が東京都内の病院で、十二指腸潰瘍のため亡くなられた。67歳だった。鳩山議員の事務所が伝えた。鳩山邦夫氏は、様々な時期に、法務大臣や総務大臣など政府の重要な役職を歴任された。また鳩山邦夫氏は、鳩山由紀夫



元首相の弟でもある。邦夫氏は、その長い政治活動の間、ロシアとの交流強化に向け尽力された。なお 1954 年から 56 年まで首相を務めた故人の祖父鳩山一郎氏は、日本の総理大臣として歴史的なソ日共同宣言に署名した。この文書は、初めての、そして今日双方により調印された唯一の公式文書であり、その中では、平和条約締結及び領土問題解決に向けた試みがなされている。

スプートニク日本一同、深い尊敬を込めて故鳩山邦夫氏の御冥福をお祈りいたします。

<http://bit.ly/28QLKqn>

### 中国 係争諸島への定期クルーズ旅行を計画

(スプートニク 2016 年 06 月 22 日 16:54)

© AFP 2016/ POOL / RITCHIE B. TONGO <http://bit.ly/28QM20h>

中国海南省は、2020 年までに、中国が周辺諸国と領有権を争う南シナ海の南沙諸島（スプラトリー諸島）への定期的なクルーズ旅行を開始する計画。チャイナ・デイリーが、海南省当局の文書を引用して伝えた。文書によると、クルーズは一般に採用されている国際基準を満たすものとなる。また海南省は、複数回停留する南シナ海への個別の観光も行う計画。その目的は、海南省の観光産業の発展だという。

<http://bit.ly/280qzUn>

### 原田政府代表 日ロ平和条約に関する次官級交渉を総括

(スプートニク 2016 年 06 月 22 日 18:49)

© Sputnik/ Ilya Pitalev <http://bit.ly/1Nw3fsJ>

東京で行われていた日ロ平和条約に関する次官級交渉の第 2 ラウンドが終わった。交渉で双方は「こうしたフォーマットでの対話を継続することで合意に達した」。

これは 22 日、日本外務省での記者会見で、ロシアとの関係について日本政府の特別代表を務める原田親仁日ロ関係担当大使が、2 日間にわたり行われたロシアのイーゴリ・モルグロフ外務次官との協議を総括して明らかにしたものだ。

原田氏は、次のように述べた—

「我々は、こうしたフォーマットでのディスカッションを続けていくことで合意した。交渉の次のラウンドは、できるだけ早くモスクワで、おそらくは安倍首相が東方経済フォーラム参加のためウラジオストクを訪問する前になされるだろう。」

なお東方経済フォーラムは、今年9月2～3両日、ロシア極東のウラジオストクで開かれる。

原田氏はまた、交渉では、北朝鮮による弾道ミサイル発射実験についても触れられたとし「我々は、今回の事を憂慮している。なぜならこうした行動は、国連安保理事会決議に反するものだからだ。日本とロシアは、この問題に関し、協同行動をとることで合意した」と伝えた。

<http://bit.ly/28T0BzV>

## **ロシア 米国と日本を含めたその同盟国の軍事衛星に関するデータへのアクセスを可能に**

(スプートニク 2016年06月22日 19:03)

© Flickr/ US Air Force <http://bit.ly/28QXFVU>

ロシアは、地球周回軌道上に存在する人工衛星について自分達が持つデータへ広くアクセスできるようにする考えだ。新聞「イズヴェスチヤ」が伝えた。

宇宙空間の平和利用に関する国連委員会の第59回会議でロシア代表団長を務めるヴィクトル・メシコフ氏は「そうしたサービスは、北米航空宇宙防衛司令部（NORAD）のカタログのようなものになる。しかしNORADのものにはロシアや米国の衛星に関する情報が含まれているものの、米国政府は、自分達の衛星の多くを秘密にしようとしてきた」と指摘した。

ロシアのカタログの中には、衛星や宇宙ゴミに関する民間データのみならず、米国宇宙軍（USSPACECOM）司令部の公開データの中になく、つまり米国や、その同盟国であるフランスやドイツ、イスラエルそして日本の軍事衛星に関する情報も含まれることになる。なお、ロシアの軍事衛星については、カタログの中ですでに公表されている。

<http://bit.ly/28QMN9K>

## **メルケル首相 ドイツの防衛費を増額する必要がある**

(スプートニク 2016年06月22日 20:14)

© AFP 2016/ Britta Pedersen <http://bit.ly/28NQ2KR>

ドイツのメルケル首相はベルリンで開かれた会議で、外部からの脅威により、ドイツは防衛費を増額する方針だと発表した。ロイター通信が報じた。メルケル首相は、EUは現在外部の脅威から自らを守ることができない状態にあり、米国との大西洋横断パートナーシップに単に期待することはできないと指摘した。

メルケル首相は、「もちろんこれはドイツのような現在GDPのおよそ1.2%を防衛に費やしてい

る国と、GDPの3.4%を防衛に費やしている米国が近づくことになることを意味している」と述べた。先に、ドイツ当局がEUの他の加盟国の市民を自国軍に採用することを計画していると報じられた。

<http://bit.ly/28NtQCh>

### ロシアの指導的な研究者の1人 逝去

(スプートニク 2016年06月22日 21:24)

◎ 写真: Association of Japonologists <http://bit.ly/280TGX1>

ロシアの指導的な東洋学者の1人、エリゲーナ・モロジャコワ氏が、モスクワで逝去した。モロジャコワ氏は、ロシア科学アカデミー東洋学研究所の元副所長で、日本研究科の責任者だった。モロジャコワ氏は長年にわたって雑誌「お近づきになってくださいー日本」の編集長、ロシア日本研究者協会の副会長、神道国際学会モスクワ代表部の所長を務めたほか、雑誌「アジアとアフリカの今」の編集メンバーでもあった。モロジャコワ氏は法政大学（東京都）、慶應義塾大学（東京）、立命館大学（京都）、国際交流基金の客員教授として何度も日本を訪れた。

モロジャコワ氏は、第二次世界大戦後の日本の社会や政治史のほか、日本社会の文化・宗教的な側面も研究し、約250の学術出版物などを執筆した。21世紀、モロジャコワ氏は、ロシアにおける指導的な日本研究者の1人となった。モロジャコワ氏自ら、そして同氏の監修のもとにたくさんのモノグラフが書かれ、発表された。またモロジャコワ氏は、「ロシア大百科事典」、百科事典「日本 A（アー）からЯ（ヤー）まで」、神道の百科事典「神々、寺院、日本の儀式」の日本について述べられた箇所の著者でもある。モロジャコワ氏が書いた本や論文は、モスクワ国際関係大学、モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学、その他の高等教育機関の教材として使われている。

「スプートニク」日本語課は、モロジャコワ氏のご家族、そして同氏の息子の歴史家、日本研究者で、現在は拓殖大学の教授を務めているワシリー・モロジャコフ氏に、衷心より哀悼の意を表します。

<http://bit.ly/280TY02>

### 中国 vs.米国のライバル争いの場と化する南シナ海

(スプートニク 2016年06月23日 01:17 リュドミラ・サーキャン)

◎ REUTERS/ Erik De Castro <http://bit.ly/28NtWd0>

フィリピン海での軍事演習ではジョン・C・ステニス、ロナルド・レーガンと、米国の巨大な空母が同時に2隻も参加している。演習では1万2,000人の海兵、140機の軍用機と6隻の軍艦が行動す

る。米国空母攻撃船団のマークス・ヒッチコック総司令官は「いかなる艦隊もこれだけの軍事力を一つの海域に集中させることはできない」と豪語した。ネイビータイムズ紙が声明を引用して報じた。

米国防総省は、こうした演習はなんらかの危機に対する反応ではなく、こうした軍事力の集中は戦闘準備プログラムに含まれるものだとして断言しているが、専門家らは、これは紛れもなく中国に対し、地域での中国の行動を断じて許さぬというシグナルだとの見方を表している。

ロナルド・レーガン号は6月5日、横須賀港を出港、この同日、ステニス号は4月上旬からずっと留まり続けていた南シナ海を出た。南シナ海で中国は数カ国を同時に相手にした領土論争を行なっている。3ヵ月もの間、ステニス号はその船体によって地域における中国の行動が活発化していることへの米国のリアクションを象徴してきた。それは島をめぐる話だ。これは事実上、中国に掌握されているものの、そのほかの国々が領有権を主張する諸島の事をさす。中国は諸島を露骨に開発し、人工島を建設し、中国に対抗する者たちの見解では、南シナ海の著しく大きな水域の管轄権を主張している。これが南シナ海の近隣諸国にも、この水域の交易路に依存している日本にも米国にも気に入らない。中国自身は、こうした諸国はこの地域の緊張をエスカレートさせるために故意に米国の支援を利用していると考えている。特にステニスを参加させた米国、フィリピンの南シナ海での合同警備は「冷戦のメンタリティーを具現化」し、この地域を軍国主義化するものとして中国の厳しい非難を呼んだ。

近い将来に南シナ海情勢に引き込まれている諸国が待っているのはフィリピンが国連仲裁裁判所に起こした訴えの判決だ。フィリピンは中国がスプラトリー（南沙）諸島、南シナ海の他の水域において一連の暗礁、岩礁などの周辺で排他的経済水域を主張しているのは不当だとして訴えを起こした。裁判所の判決が中国の肩を持たないものであった場合、米国とこの地域におけるその同盟国らは中国に対し、判決を認め、判決および海洋法に関する国際連合条約の形式上の義務の遂行を求めることになる。とはいえ米国の立場はこの場合、申し分のないものとはならない。なぜならば米国自身、未だにこの条約を批准していないからだ。

未だに中国を叩き、地域でこれに圧力を講じようとする米国の試みはさしたる効果を上げていない。中国は弱みを一切見せておらず、自国にとって原則的であると考えられる立場とは妥協する構えだからだ。

ロシアはこの状況では介入しない立場をとっている。東洋学者のイリヤ・ウソフ氏はこれは中国とのパートナー関係を優先しつつもアジア太平洋諸国との多極的な結びつきを発展させるという国益に叶うとして、次のように語っている。

「状況は地域での中国の役割強化に従って変化した。中国は強力なプレーヤーとして、かなり積極的に打って出る立場を示し、歴史的に複雑な関係がある隣国たちに、いまだに不安を覚えさせている。だが！ 中国に隣接する国々が、東方のベクトルにおいては、ロシアの将来性のあるパートナー国であることは先日のソチでのASEAN-ロシアサミットでも示された。だからロシアは今まで示してきた中立性を退ける構えにはなく、純粹に地理的な理由で論争に参

加するわけにもいかない。我々は常に、論争に加わる者たちは平和的対話でそれを解決せねばならないと主張してきた。こうした立場からロシアは離れるつもりはない。」

ウソフ氏は、仮に地政学的にロシアがこうした論争のどちらかの肩を持つことになれば、ASEAN地域におけるロシアの外交政策は完全に瓦解し、地域の隣国との関係に予測不可能なほど多大な影響が及ぼされてしまうと語っている。

<http://bit.ly/28Wh9EM>

### ロシアは鳩山邦夫氏への感謝を忘れない

(スプートニク 2016年06月22日 23:28 リュドミラ・サーキャン)

© AFP 2016/ Jiji Press <http://bit.ly/28T3qRO>

自民党衆議院議員で日本・ロシア協会の元会長の鳩山邦夫氏が死去した。享年67歳だった。鳩山氏の死去については福岡県久留米市にある同氏の代表事務所が明らかにした。

鳩山邦夫氏は元外相を務めた有名な政治家、鳩山 威一郎氏を父にもち、首相として1956年にソ連との共同宣言に調印して、戦争で断絶していた両国の外交関係を復活させた鳩山一郎氏を祖父とする。鳩山邦夫氏は東京大学法学部を卒業するとすぐに政治活動を開始。1976年、鳩山氏は東京都第8区から衆議院に当選。当選回数はあわせて13回に及んだ。鳩山邦夫氏は幾度も組閣入りしており、法務大臣を務めた経験もある。

2009年10月、鳩山邦夫氏は兄の鳩山 由紀夫氏に代わり、日本・ロシア協会の会長に就任。鳩山邦夫氏は築かれつつあるプーチン大統領と安倍首相の関係が一連の政治家らに形成されたステレオタイプ拒否として刻まれ、二国関係の著しい改善における段階となることを希望すると幾度も繰り返していた。鳩山邦夫氏はまた、日本の最も近い隣国であるロシアはエネルギー、農業生産物の分野で、つまり世界でますます不足が叫ばれる生産物の世界最大のポテンシャルを持つ稀有な国だと力説していた。鳩山邦夫氏は、これだけでも日本のロシアへの接近を刺激すべきものだと主張していた。

日本・ロシア協会のイーゴリ・ロマネンコ会長はスプートニクを通じて、鳩山邦夫氏への哀悼の意を表している。

「個人的にもまた協会からも鳩山さんのご家族に心からお悔やみ申し上げます。際立った政治家として、社会活動家として彼は両国の友好関係の発展に実に多くの事を成し遂げました。ロシアでは鳩山さんはよく知られており、これからいつも感謝の念を持って記憶に刻まれることでしょう。私たちは鳩山さんと10月に露日間の共同宣言による両国の外交関係復活60周年を記念した合同イベントを計画していました。イベントが最終的には行なわれることを願っています。おそらく日本では協会でも鳩山邦夫氏会長にかわるにふさわしい人物が見つかると思いま

すが、鳩山氏は私たちにとっては才能豊かで影響力のある政治、社会活動家として単に物理的な喪失感が残でしょう。私たちは彼の闘病は知っていましたが、それでも死はいつも突然やってくるものです。私たちは心の中に友人としての鳩山邦夫氏の記憶を常に刻んで生きたいと思っています。」

<http://bit.ly/28RFMok>

## ロシア記憶と哀悼の日：「朝の4時、宣戦布告なき戦争始まる」

(スプートニク 2016年06月22日 23:02)

© Sputnik/ Alexey Kudenko <http://bit.ly/28WjtMk>

6月22日ロシアでは、大祖国戦争の始まりに捧げられた「記憶と哀悼の日」を迎えている。1941年6月22日の朝4時、ドイツ軍は宣戦布告なしに、ソ連領内に大規模な侵攻を開始した。作戦には、191師団が参加、軍人の総数は730万に達した。

音声 <http://bit.ly/28QbCnP>

<http://bit.ly/280z0kg>

## 学者グループ 米国での大地震と津波を警告

(スプートニク 2016年06月23日 00:07)

© AP Photo/ Rodrigo Abd <http://bit.ly/28QbXa5>

米の専門家らは、米国領内で今後10日の間に、強い地震が起きる可能性があるとして警告した。それによれば、地震の規模はマグニチュード9.3に達し、その結果として津波が起こる。新聞 Express が伝えた。

地質学者のデータによれば、カリフォルニア州では最近、マグニチュード3.6程度の揺れが10回記録された。それ以外に、およそ200回もの小さな地震が、メキシコとの国境地帯で観測されている。ある地区では震動の周波数が高くなっており、この事は、マグニチュード10を超える巨大地震の可能性を物語っている。学者らの予想では、地震は北米大陸の西部沿岸で起きるといふ。その場合、地震によって引き起こされる津波は、ポートランド、シアトル、バンクーバーを襲うことになる。

<http://bit.ly/28NSQYn>

## 北朝鮮外務省女性高官「核問題をめぐる6ヵ国協議は死んだ」

(スプートニク 2016年06月23日 09:11)

© AP Photo/ Ahn Young-joon <http://bit.ly/1V12PJh>

朝鮮半島の核問題をめぐる6ヵ国協議は「死んだ」。22日、朝鮮民主主義人民共和国外務省の女性高官は、このように述べた。22日、韓国の聯合ニュースが伝えた。

北朝鮮外務省北米課のツオイ・ソンヒ副課長は、米国が後援する非公開の国際会議「北東アジア協力対話」に招待された。この会議には、2003年から2009年まで北京で行われた6ヵ国協議参加国の代表者らが参加した。

聯合ニュースによれば、北朝鮮による新たな2発の弾道ミサイル発射実験実施が明らかになった後、ツオイ副課長は「6ヵ国協議は死んでしまった」と述べたという。

北朝鮮の核プログラムをめぐる6ヵ国協議には、ロシア、米国、中国、南北朝鮮そして日本が参加してきた。

<http://bit.ly/28Qelit>

## ノーベル賞受賞者 ロシア経済の未来を予測 ロシアは日本と同じ道を進んでいる

(スプートニク 2016年06月23日 10:09)

© Fotolia/ Beeboys <http://bit.ly/280IpV0>

ロシアは、日本と同じ道を進んでいる。2010年にノーベル経済学賞を受賞したクリストファー・ピサリデス氏が、通信社ブルームバーグのインタビューで語った。

ピサリデス氏は、「主なリスクは、ロシアが日本のように一つの場所で停滞していることにある。しかし日本は非常に高いレベルに達したが、リスクはロシアが低いレベルで停滞していることだ」と指摘した。

ピサリデス氏によると、原油価格の下落はロシアにとって「幸福」だという。ピサリデス氏はブルームバーグに、「なぜならこれは主要な現代的経済となるためにロシアが進むべき方向へと経済を向かわせるからだ」と述べた。キプロスの経済学者ピサリデス氏は、2010年にノーベル経済学賞を授与された。

<http://bit.ly/28RJsX5>



## 留学中の東大生、ロシアの通信料とじゃが芋の安さに度肝を抜かれる

(スポーツニク 2016年06月23日 11:01 徳山あすか)

© Fotolia/ Daniel Korzeniewski <http://bit.ly/28NVCNd>

現在ロシアに留学中の東大生、李優大さんがスポーツニクを訪問し、自身の経験について話してくれた。李さんは、東京大学の全学交換留学制度を利用し、サンクトペテルブルグ大学で約一年間学んだ。

東大のロシアにおける協定大学はひとつしかなかったため、ある意味行き先の選択肢はなかったのだが、サンクトペテルブルグ大学では東洋学が盛んに学ばれており、李さんの興味の対象とも一致した。李さんのインタビューの抜粋をご紹介します。

李さんが取った授業の中で面白かったのは、意外にも全部、語学だった。李さんは、ロシア語はもちろんだが、東大では学べないタジク語と、ペルシア語を受講していた。厳しさの中にも、面白さがあったという。

**李さん：**「基本的にロシアの大学は厳しいです。日本の大学で少数言語の授業の場合、自分の科目を生徒が取ってくれたことに対して先生が嬉しくなって、ちょっと甘くなったりすることが往々にしてあると思います。こちらの先生は、『国家に寄与する存在』を養成するために徹底して教え、宿題を出し、それでもできなければ退学させます。」

ロシアでの慣れない生活、しかも寮での外国人たちとの集団生活は大変なものだが、メリットもあった。ロシアでは意外なものが安いのだ。

**李さん：**「ロシアの通信事情は日本よりも勝っていると思います。電波の状態も日本と同じくらいです。カフェに行けばどこでも、コーヒーさえ買えば無料でWI-FIが使えますし、スマートフォンの通信料は、日本と同内容のプランで月額250ルーブル（6月23日現在のレートで約400円）です。公共交通、物価もとても安いです。日本とロシアの所得の差という要素を差し引いても、それでも安いですよ。じゃがいもは、ペテルブルグなら1キロ20ルーブルくらい（約30円）です。」

東大生だからといって勉学のみ励んでいるというわけでもない。美しきロシア人女性達との関係について、李さんは「うまくいったこともあったが、それと同じくらい色々失敗もした」と述懐する。

**李さん：**「ロシア人には『付き合う』という定義がないんですね。日本だと、『お付き合いしてください』『はい、わかりました』なんていう約束事がありますが、ロシアではそれがありませんよ。何かこう、流れで…。そういう手続き的なものが無いことは、僕にとっては良いと思いたね。」

寮でのトラブルをはじめ生活面での苦労も絶えなかった李さんだが、ソ連時代の文献を読んで大

学院への進学を視野に入れた論文も書き上げ、ロシア語能力の試験でも高い成績をおさめるなど成果を残した。留学は李さんにとって、精神修行にもなった。李さんはロシア留学を考えている学生に対し「ロシアに来る前に、それなりの語学力をつけておかないと最初が大変」なので、日常会話程度は話せるように早めに勉強しておくようアドバイスしている。

李さんのフル・インタビューはサウンドクラウド「トーク・雑談」コーナーの「ロシアに住む日本人とおしゃべり：東大生がロシア留学してみた」をお聴きください。

<http://bit.ly/28RJY7j>

### **マスコミ報道：トルコが対シリア国境に新たな対空防衛システムを配備**

(スプートニク 2016年06月23日 12:17)

© AFP 2016/ Ozan Kose <http://bit.ly/28Rif92>

トルコ当局は、シリアとの国境地帯に新たな対空防衛システムを配備し、それをテストする考えだ。Defense News が伝えた。

新しいシステムは、トルコ南部のキリス県に置かれる。配備されるのは、対迫撃砲レーダー・システム Serhat 及び高機動ロケット砲システム (High Mobility Artillery Rocket System, HIMARS) だ。後者は、長射程の阻止砲撃用として米陸軍が開発した自走多連装ロケット砲である。

それ以外にも、トルコは、シリアとの国境から約 70 キロの上空を、小型飛行船でパトロールする。なおトルコとシリアの国境線の長さは、およそ 300 キロだ。

<http://bit.ly/280w19Y>